




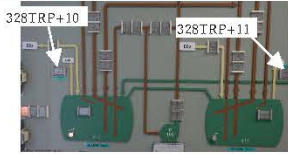

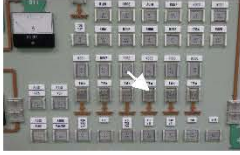



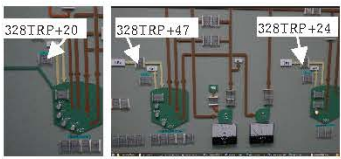
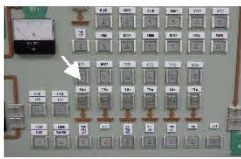
		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況		防護対象	・受入貯槽 (328V10、V11) 金属製貯槽 密封構造	
		設置場所 の状況	・地下2階 廃溶媒受入セル (R006) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：無し	
防護対象の 周囲の状況		人の立入	・無し	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・槽類換気系配管に温度記録上限緊急操作装置 (328TRP+10、11) 及びセル換気系ダクトに温度警報装置 (328FDT006) を設置 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の制御盤、第三低放射性廃液蒸気処理施設 (Z) 事務室 (W213) の受信機*により感知可能。 *監視カメラにより廃棄物処理場 (AAF) 廃棄物処理場制御室 (G101) にて常時監視	
		消火設備	・炭酸ガス消火設備 ・水噴霧消火設備	
				
	セル壁 (A013 側) ST-01-写 02			
設置場所の 火災感知の 方法の状況				
	温度記録上限緊急操作装置 (熱電対：A010) ST-01-写 03①	温度警報装置 (熱電対：A013) ST-01-写 03②	温度記録上限緊急操作装置 (表示灯：G201) ST-01-写 04①	温度警報装置 (表示灯：G201) ST-01-写 04②
設置場所の 消火方法 の状況				
	炭酸ガス消火設備 (操作盤：G201) ST-01-写 07①	水噴霧消火設備 (操作弁：G201) ST-01-写 07②	水噴霧消火設備 (制御弁：A010) ST-01-写 07③	

図 22 (1/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況		防護対象	・少量危険物（TBP、ドデカン） 洗浄槽（328V20）、希釈剤受槽（328V24） 及び希釈剤洗浄槽（328V47） 密封構造
		設置場所の状況	・地下2階 廃溶媒洗浄セル（R001） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：無し
防護対象の周囲の状況		人の立入	・無し
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	・槽類換気系配管に温度記録上限緊急操作装置（328TRP+20、24及び47）及びセル換気系ダクトに温度警報装置（328FDT001）を設置 廃溶媒処理技術開発施設（ST）制御室（G201）の制御盤、第三低放射性廃液蒸発処理施設（Z）事務室（W213）の受信機*により感知可能 *監視カメラにより廃棄物処理場（AAF）廃棄物処理場制御室（G101）にて常時監視
		消火設備	・炭酸ガス消火設備 ・水噴霧消火設備
	 <p>セル壁（A008側） ST-02-写02</p>		

設置場所の火災感知の方法の状況	 <p>温度記録上限緊急操作装置（熱電対：A010） ST-02-写03①</p>	 <p>温度警報装置（熱電対：A008） ST-02-写03②</p>	 <p>温度記録上限緊急操作装置（表示灯：G201） ST-01-写04①</p>	 <p>温度警報装置（表示灯：G201） ST-01-写04②</p>
-----------------	--	--	---	--


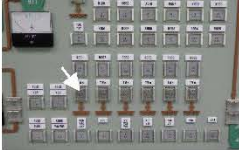

設置場所の消火方法の状況	 <p>炭酸ガス消火設備（操作盤：G201） ST-01-写07①</p>	 <p>水噴霧消火設備（操作鈕：G201） ST-01-写07②</p>	 <p>水噴霧消火設備（制御弁：A010） ST-02-写07</p>
--------------	--	--	--

図 22 (2/16) 廃溶媒処理技術開発施設（ST）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果




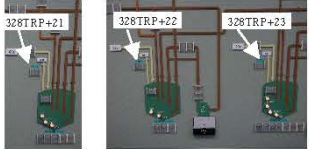
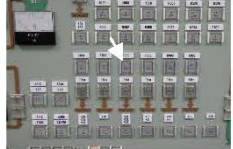

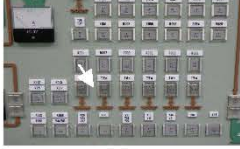

		火災防護上の特徴		
防護対象の設置状況		防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量危険物 (TBP, ドデカン) 第1抽出槽 (328V21), 第2抽出槽 (328V22) 及び第3抽出槽 (328V23) 密封構造 	
		設置場所の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下2階 希釈剤分離セル (R002) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 無し 	
防護対象の周囲の状況		人の立入	・無し	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 槽類換気系配管に温度記録上限緊急操作装置 (328TRP+21, 22 及び 23) 及びセル換気系ダクトに温度警報装置 (328FDT002) を設置 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の制御盤、第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) 事務室 (W213) の受信機*により感知可能 *監視カメラにより廃棄物処理場 (AAF) 廃棄物処理場制御室 (G101) にて常時監視 	
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 炭酸ガス消火設備 水噴霧消火設備 	
	 <p>セル壁 (A008 側) ST-03-写 02</p>			
設置場所の火災感知の方法の状況	 <p>温度記録上限緊急操作装置 (熱電対: A010) ST-03-写 03①</p>	 <p>温度警報装置 (熱電対: A008) ST-03-写 03②</p>	 <p>温度記録上限緊急操作装置 (表示灯: G201) ST-01-写 04①</p>	 <p>温度警報装置 (表示灯: G201) ST-01-写 04②</p>
	設置場所の消火方法の状況	 <p>炭酸ガス消火設備 (操作盤: G201) ST-01-写 07①</p>	 <p>水噴霧消火設備 (操作鈕: G201) ST-01-写 07②</p>	 <p>水噴霧消火設備 (制御弁: A010) ST-03-写 07</p>

図 22 (3/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果




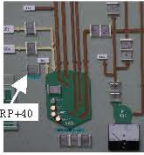
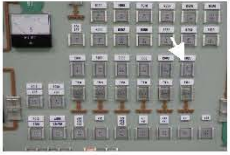

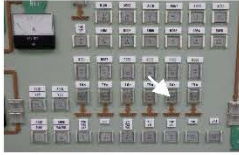


		火災防護上の特徴		
防護対象の設置状況		防護対象	・少量危険物（ドデカン） 廃液洗浄槽（328V40） 密封構造	
		設置場所の状況	・地下2階 廃液中和セル（R003） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：無し	
防護対象の周囲の状況		人の立入	・無し	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・槽類換気系配管に温度記録上限緊急操作装置（328TRP+40）及びセル換気系ダクトに温度警報装置（328FDT003）を設置 廃溶媒処理技術開発施設（ST）制御室（G201）の制御盤、第三低放射性廃液蒸発処理施設（Z）事務室（W213）の受信機*により感知可能 *監視カメラにより廃棄物処理場（AAF）廃棄物処理場制御室（G101）にて常時監視	
				
	セル壁（A008側） ST-04-写 02			
設置場所の火災感知の方法の状況				
	温度記録上限緊急操作装置（熱電対：A010） ST-04-写 03①	温度警報装置（熱電対：A008） ST-04-写 03②	温度記録上限緊急操作装置（表示灯：G201） ST-01-写 04①	温度警報装置（表示灯：G201） ST-01-写 04②
	設置場所の消火方法の状況			
		炭酸ガス消火設備（操作盤：G201） ST-01-写 07①	水噴霧消火設備（操作鈕：G201） ST-01-写 07③	水噴霧消火設備（制御弁：A010） ST-04-写 07

図 22 (4/16) 廃溶媒処理技術開発施設（ST）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況		防護対象	・少量危険物 (TBP) TBP 貯槽 (328V31) 密封構造
		設置場所 の状況	・地下 2 階 TBP 貯蔵セル (R005) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：無し
		人の立入	・無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	・槽類換気系配管に温度記録上限緊急操作装置 (328TRP+31) 及びセル換気系ダクトに温度警報装置 (328FDT005) を設置 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の制御盤、第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) 事務室 (W213) の受信機*により感知可能 *監視カメラにより廃棄物処理場 (AAF) 廃棄物処理場制御室 (G101) にて常時監視
消火設備	・炭酸ガス消火設備 ・水噴霧消火設備		
防護対象の 周囲の状況			
		 <p>セル壁 (A013 側) ST-05-写 02</p>	

設置場所の 火災感知の 方法の状況	 <p>温度記録上限緊急操作装置 (熱電対：A010) ST-05-写 03①</p>	 <p>温度警報装置 (熱電対：A013) ST-05-写 03②</p>	 <p>温度記録上限緊急操作装置 (表示灯：G201) ST-01-写 04①</p>	 <p>温度警報装置 (表示灯：G201) ST-01-写 04②</p>
-------------------------	--	--	---	--

設置場所の 消火方法 の状況	 <p>炭酸ガス消火設備 (操作盤：G201) ST-01-写 07①</p>	 <p>水噴霧消火設備 (操作鈕：G201) ST-01-写 07③</p>	 <p>水噴霧消火設備 (制御弁：A010) ST-05-写 07</p>
----------------------	--	--	--

図 22 (5/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況		防護対象	・危険物（ドデカン） 廃シリカゲル貯槽（328V32） 密封構造
		設置場所 の状況	・地下2階 廃シリカゲル貯蔵セル（R007） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：無し
防護対象の 周囲の状況		人の立入	・無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	・槽類換気系配管に温度記録上限緊急操作装置（328TRP+32）及びセル換気系ダクトに温度警報装置（328FDT007）を設置 廃溶媒処理技術開発施設（ST）制御室（G201）の制御盤、第三低放射性廃液蒸発処理施設（Z）事務室（W213）の受信機*により感知可能 *監視カメラにより廃棄物処理場（AAF）廃棄物処理場制御室（G101）にて常時監視
		消火設備	・炭酸ガス消火設備 ・水噴霧消火設備
			
	セル壁（A013 側） ST-06-写 02		

設置場所の 火災感知の 方法の状況				
	温度記録上限緊急操作装置（熱電対：A010） ST-06-写 03①	温度警報装置（熱電対：A013） ST-06-写 03②	温度記録上限緊急操作装置（表示灯：G201） ST-01-写 04①	温度警報装置（表示灯：G201） ST-01-写 04②

設置場所の 消火方法 の状況			
	炭酸ガス消火設備（操作盤：G201） ST-01-写 07①	水噴霧消火設備（操作鈕：G201） ST-01-写 07②	水噴霧消火設備（制御弁：A010） ST-06-写 07

図 22 (6/16) 廃溶媒処理技術開発施設（ST）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 <p>少量危険物 希釈剤中間受槽 (328V25) ST-07-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量危険物 (ドデカン) 希釈剤中間受槽 (328V25) 密封構造 		
		設置場所の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下 2 階 希釈剤中間受槽室 (A012) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：ライニング 照明：有り (防爆仕様) 		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し		
防護対象の周囲の状況	 <p>周囲 ST-07-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 槽類排気系配管に温度記録上限緊急操作装置 (328TRP+25)を設置し、上部付近に熱感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の制御盤及び受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) 及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 炭酸ガス消火設備 消火器：約 6 m 屋内消火栓：約 18 m 		
	 <p>壁 ST-07-写 02②</p>	 <p>天井 ST-07-写 02③</p>	 <p>床 ST-07-写 02④</p>		
設置場所の火災感知の方法の状況	 <p>温度記録上限緊急操作装置 (熱電対：A012) ST-07-写 03①</p>	 <p>熱感知器 ST-07-写 03②</p>	 <p>温度記録上限緊急操作装置 (表示灯：G201) ST-011-写 04</p>	 <p>受信機 (G201) ST-07-写 04</p>	
	 <p>消火器 (ABC 消火器, 車載式消火器：A013) ST-07-写 05</p>		 <p>屋内消火栓 (A008) ST-07-写 06</p>		 <p>炭酸ガス消火設備 (操作盤：G201) ST-01-写 07</p>

図 22 (7/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果





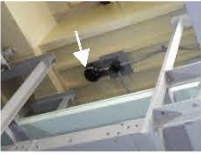




		火災防護上の特徴			
防護対象 の設置状況	 危険物 希釈剤貯槽 (328V30) ST-08-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物 (ドデカン) 希釈剤貯槽 (328V30) 密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下 2 階 希釈剤貯槽室 (A013) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : SUS ライニング (ドリフトレイ) 照明 : 有り (防爆仕様) 		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-08-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・槽類排気系配管に温度記録上限緊急操作装置 (328TRP+30)を設置し、上部付近に熱感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の制御盤及び受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) 及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・炭酸ガス消火設備 ・消火器 : 約 5 m ・屋内消火栓 : 約 18 m 		
			 壁 ST-08-写 02②	 天井 ST-08-写 02③	 床 ST-08-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 温度記録上限緊急操作 装置 (熱電対 : A013) ST-08-写 03①	 熱感知器 ST-08-写 03②	 温度記録上限緊急操作装置 (表示灯 : G201) ST-01-写 04	 受信機 (G201) ST-07-写 04	
	 消火器 (ABC 消火器、車載式消 火器 : A013) ST-07-写 05	 屋内消火栓 (A008) ST-07-写 06	 炭酸ガス消火設備 (操作盤 : G201) ST-01-写 07①		
	設置場所の 消火方法 の状況				

図 22 (8/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) ST-09-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下中 1 階 保守区域 (A010) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-09-写 02①	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の 受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信 機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の 受信機において感知可能		
		消火設備	・消火器 : 約 10 m ・屋内消火栓 : 約 16 m		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-09-写 03	 受信機 (G201) ST-07-写 04			
	 壁 ST-09-写 02②	 天井 ST-09-写 02③	 床 ST-09-写 02④		
	 消火器 (ABC 消火器 : A013) ST-09-写 05	 屋内消火栓 (A008) ST-09-写 06			

図 22 (9/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) ST-10-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 保守区域 (A110) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-10-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の 受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信 機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の 受信機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 26 m		
	 壁 ST-10-写 02②	 天井 ST-10-写 02③	 床 ST-10-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-10-写 03	 受信機 (G201) ST-07-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A110) ST-10-写 05	 屋内消火栓 (A115) ST-10-写 06			

図 22 (10/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) ST-11-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 金属製棚 (不燃シート養生) 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 保守区域 (A110) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-11-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の 受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信 機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の 受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 32 m	
		壁	 ST-11-写 02②	 天井 ST-11-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-11-写 03	 受信機 (G201) ST-07-写 04		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：A110) ST-11-写 05	 屋内消火栓 (A115) ST-10-写 06	

図 22 (11/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) ST-12-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 2 階 安全管理分室 (A214) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-12-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の 受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信 機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の 受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 3 m ・屋内消火栓：約 10 m	
		壁	 ST-12-写 02②	 天井 ST-12-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-12-写 03	 受信機 (G201) ST-07-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：A214) ST-12-写 05	 屋内消火栓 (A214) ST-12-写 06		

図 22 (12/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 ST-13-写 01	防護対象	・少量未満危険物（潤滑油等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 保守区域（G102） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-13-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設（ST）制御室（G201）の 受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信 機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の 受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 20 m	
	 壁 ST-13-写 02②	 天井 ST-13-写 02③	 床 ST-13-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-13-写 03	 受信機（G201） ST-07-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G102） ST-13-写 05	 屋内消火栓（A115） ST-10-写 06		

図 22 (13/16) 廃溶媒処理技術開発施設（ST）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) ST-14-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上2階 制御室 (G201) 天井: コンクリート (吊天井: 化粧ボード) 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-14-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の 受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信 機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の 受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 16 m ・屋内消火栓: 約 15 m	
		壁	 壁 ST-14-写 02②	 天井 ST-14-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-14-写 03	 受信機 (G201) ST-07-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G201) ST-14-写 05	 屋内消火栓 (A214) ST-12-写 06		

図 22 (14/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 指定可燃物 エポキシ樹脂貯槽 (328V68) ST-15-写 01	防護対象	・指定可燃物 (エポキシ樹脂) エポキシ樹脂貯槽 (328V68) 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上2階 試薬調整室 (G210) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ST-15-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の 受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信 機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の 受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 5 m ・屋内消火栓: 約 20 m	
		壁	 壁 ST-15-写 02②	 天井 ST-15-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ST-15-写 03	 受信機 (G201) ST-07-写 04		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G210) ST-15-写 05	 屋内消火栓 (A214) ST-12-写 06	

図 22 (15/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	 <p>少量未満危険物 硬化剤貯槽 (328V69) ST-16-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物 (硬化剤) 硬化剤貯槽 (328V69) 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上 2 階 試薬調整室 (G210) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り 	
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 	
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 ST-16-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 制御室 (G201) の受信機、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 	
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器 : 約 10 m 屋内消火栓 : 約 24 m 	
	 <p>壁 ST-16-写 02②</p>	 <p>天井 ST-16-写 02③</p>	 <p>床 ST-16-写 02④</p>	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 <p>煙感知器 ST-16-写 03</p>	 <p>受信機 (G201) ST-07-写 04</p>		
設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器 : G210) ST-15-写 05</p>	 <p>屋内消火栓 (A214) ST-12-写 06</p>		

図 22 (16/16) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

23.焼却施設(IF)

表 23 焼却施設(IF)プラントワークダウン結果まとめ (1/2)

No	階層	防護対象 ^注	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
01	B1F	一時貯蔵ラック (342M151,M152)	A001	IF-01-写 01	IF-01-写 02	IF-01-写 03 (煙感知器:2基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-01-写 05 (A001)	約 15 m	IF-01-写 06 (A002)	約 20 m	IF-01-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A002、水 噴霧消火設備制御 弁:A004)	—	
02	B1F	仕掛品 (置場)	A003	IF-02-写 01	IF-02-写 02	IF-02-写 03 (煙感知器:2基)	同上	IF-02-写 05 (A003)	約 3 m	同上	約 8 m	IF-02-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A004) IF-01-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:A004)	—	
03	B1F	回収ドデカン貯槽 (342V21)	A005	IF-03-写 01	IF-03-写 02	IF-03-写 03 (煙感知器:5基、温 度上限警報装置: 342TA*21.2)	IF-01-写 04 (煙感知器:G310) IF-03-写 04 (温度上限警報装 置:G310)	IF-03-写 05 (ABC 消火器:A005、 車載式消火器:A005)	約 12 m 約 3 m	同上	約 15 m	IF-02-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A004) IF-03-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:A005、 炭酸ガス消火設備 操作盤:A005)	—	・回収ドデカン(TBP)、オ クチル酸カルシウム
04	B1F	仕掛品 (置場)	A005	IF-04-写 01	IF-04-写 02	IF-04-写 03 (煙感知器:5基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-03-写 05 (ABC 消火器:A005)	約 3 m	同上	約 18 m	IF-02-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A004) IF-03-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:A005)	—	
05	B1F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A005	IF-05-写 01	IF-05-写 02	IF-05-写 03 (煙感知器:5基)	同上	同上	約 15 m	同上	約 24 m	同上	—	
06	B1F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A006	IF-06-写 01	IF-06-写 02	IF-06-写 03 (分布型熱感知器: A005)	同上	IF-02-写 05 (A003)	約 10 m	同上	約 18 m	同上	—	
07	1F	仕掛品 (置場)	A102	IF-07-写 01	IF-07-写 02	IF-07-写 03 (煙感知器:2基)	同上	IF-07-写 05 (A102)	約 1 m	IF-07-写 06 (A106)	約 8 m	—	—	
08	1F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A102	IF-08-写 01	IF-08-写 02	同上	同上	同上	約 3 m	同上	約 10 m	—	—	
09	3F	少量未満危険物	A305	IF-09-写 01	IF-09-写 02	IF-09-写 03 (煙感知器:1基)	同上	IF-09-写 05 (A305)	約 5 m	IF-09-写 06 (G306)	約 15 m	—	—	・アルコール等
10	3F	仕掛品 (置場)	A305	IF-10-写 01	IF-10-写 02	同上	同上	同上	約 4 m	同上	約 20 m	—	—	
11	3F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物 (A303 側)	A305	IF-11-写 01	IF-11-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 22 m	—	—	
12	3F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物 (A309 側)	A305	IF-12-写 01	IF-12-写 02	同上	同上	同上	約 12 m	同上	約 20 m	—	—	





表 23 焼却施設(IF)プラントウォークダウン結果まとめ (2/2)

No	階層	防護対象 ^注	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考		
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)			
13	3F	仕掛品 (置場)	A302	IF-13-写 01	IF-13-写 02	IF-13-写 03 (煙感知器:1基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-13-写 05 (A302)	約 5 m	IF-09-写 06 (G306)	約 28 m	—	—		
14	3F	廃活性炭供給槽 (342V25)	A308	IF-14-写 01	IF-14-写 02	IF-14-写 03 (煙感知器:1基, 温度上限警報装置: 342TA'25.2)	IF-01-写 04 (煙感知器:G310) IF-03-写 04 (温度上限警報装置: G310)	IF-14-写 05 (車載式消火器:A308)	約 3 m	同上	約 6 m	IF-14-写 07 (水噴霧消火設備 操作盤:A309, 水 噴霧消火設備制御 弁:A309, 炭酸ガス消火設備 操作盤:A308)	—	—	・回収ドデカン(TBP)、廃 活性炭(吸収した油分) ケロシン、オクチル酸カ ルシウム
15	3F	仕掛品(保管場所)又は 低放射性固体廃棄物	A309	IF-15-写 01	IF-15-写 02	IF-15-写 03 (煙感知器:1基)	IF-01-写 04 (G310)	IF-09-写 05 (A305)	約 8 m	同上	約 12 m	—	—		
16	4F	少量未満危険物	A403	IF-16-写 01	IF-16-写 02	IF-16-写 03 (煙感知器:2基)	同上	IF-16-写 05 (A403)	約 10 m	IF-16-写 06 (G404)	約 15 m	—	—	・塗料等	
17	4F	仕掛品 (置場)	A405	IF-17-写 01	IF-17-写 02	IF-17-写 03 (煙感知器:1基)	同上	IF-17-写 05 (A405)	約 4 m	同上	約 10 m	—	—		

注 「別添 6-1-3-4 高放射性廃液貯蔵場(HAW), ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の「表 3-1 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和 2 年 6 月末時点)」に示す放射性物質等、各施設の廃棄物の仕掛品(置場及び保管場所)、危険物(少量未満危険物を含む。)



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(1)焼却施設(1F) 地下1階平面図



管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(2)焼却施設(IF) 地上1階平面図

 管理区域



調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機
消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(3)焼却施設(IF) 地上2階平面図



管理区域





調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(4)焼却施設(IF) 地上3階平面図

 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(5)焼却施設(IF) 地上4階平面図



管理区域



調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(6)焼却施設(IF) 地上5階平面図



管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	炭酸ガス消火設備

図23(7)焼却施設(IF) 地上6階平面図

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 一時貯蔵ラック (342M151, M152) IF-01-写 01	防護対象	・一時貯蔵ラック (342M151, M152) 金属製棚 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下1階 カートン貯蔵室 (A001) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-01-写 02①	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に において感知可能		
消火設備	・消火器：約 15 m ・屋内消火栓：約 20 m ・水噴霧消火設備				
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 壁 IF-01-写 02②	 天井 IF-01-写 02③	 床 IF-01-写 02④		
	 煙感知器 IF-01-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04			
	 消火器 (ABC 消火 器：A001) IF-01-写 05	 屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤：A002) IF-01-写 07①	 水噴霧消火設備 (制御弁：A004) IF-01-写 07②	
設置場所の 消火方法 の状況					

図 23 (1/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-02-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地下1階 焼却灰取出室 (A003) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-02-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能			
		消火設備	・消火器: 約 3 m ・屋内消火栓: 約 8 m ・水噴霧消火設備			
	 壁 IF-02-写 02②	 天井 IF-02-写 02③	 床 IF-02-写 02④			
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-02-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火 器: A003) IF-02-写 05	 屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤: A004) IF-02-写 07	 水噴霧消火設備 (制御弁: A004) IF-01-写 07		

図 23 (2/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

<p>防護対象の設置状況</p>	 <p>回収ドデカン貯槽 (342V21) IF-03-写 01</p>	<p>防護対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収ドデカン貯槽 (342V21) 金属製貯槽 密封構造 				
<p>防護対象の周囲の状況</p>	 <p>周囲 IF-03-写 02①</p>	<p>設置場所の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下1階 オフガス処理室 (A005) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ステンレス仕上げ) 照明：有り <p>人の立入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り <p>防護対象近傍の危険物・可燃物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無し <p>火災感知設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槽類換気系配管に温度上限警報装置 (342TA+21.2) を設置し、上部付近に煙感知器有り。 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機及び制御盤、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 <p>消火設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火器 (ABC 消火器)：約 12 m ・消火器 (車載式消火器)：約 3 m ・屋内消火栓：約 15 m ・水噴霧消火設備 ・炭酸ガス消火設備 				
	 <p>壁 IF-03-写 02②</p>	 <p>天井 IF-03-写 02③</p>	 <p>床 IF-03-写 02④</p>			
	<p>設置場所の火災感知の方法の状況</p>	 <p>煙感知器 IF-03-写 03①</p>	 <p>温度上限警報装置 (熱電対：A005) IF-03-写 03②</p>	 <p>煙感知器 (受信機：G310) IF-01-写 04</p>	 <p>温度上限警報装置 (制御盤：G310) IF-03-写 04</p>	
<p>設置場所の消火方法の状況</p>	 <p>消火器 (ABC 消火器)： A005 IF-03-写 05①</p>	 <p>消火器 (車載式消火器)： A005 IF-03-写 05②</p>	 <p>屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06</p>	 <p>水噴霧消火設備 (操作盤：A004) IF-02-写 07</p>	 <p>水噴霧消火設備 (制御弁：A005) IF-03-写 07①</p>	 <p>炭酸ガス消火設備 (操作盤：A005) IF-03-写 07②</p>

図 23 (3/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-04-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下1階 オフガス処理室 (A005) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-04-写 02①	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 3 m ・屋内消火栓: 約 18 m ・水噴霧消火設備		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 壁 IF-04-写 02②	 天井 IF-04-写 02③	 床 IF-04-写 02④		
	 煙感知器 IF-04-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04			
	 消火器 (ABC 消火 器: A005) IF-03-写 05	 屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤: A004) IF-02-写 07	 水噴霧消火設備 (制御弁: A005) IF-03-写 07	
設置場所の 消火方法 の状況					

図 23 (4/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 IF-05-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地下1階 オフガス処理室（A005） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-05-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析 所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離 精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機に おいて感知可能			
		消火設備	・消火器：約 15 m ・屋内消火栓：約 24 m ・水噴霧消火設備			
	 壁 IF-05-写 02②	 天井 IF-05-写 02③	 床 IF-05-写 02④			
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-05-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04			
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火 器：A005） IF-03-写 05	 屋内消火栓 （A002） IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 （操作盤：A004） IF-02-写 07	 水噴霧消火設備 （制御弁：A005） IF-03-写 07	

図 23 (5/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 IF-06-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製容器 密封構造			
		設置場所 の状況	・地下1階 焼却灰ドラム保管室（A006） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-06-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
		火災感知設備	・上部付近に分布型熱感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析 所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離 精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機に おいて感知可能			
消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 18 m ・水噴霧消火設備					
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 分布型熱感知器（A005） IF-06-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04				
	 壁 IF-06-写 02②	 天井 IF-06-写 02③	 床 IF-06-写 02④			
	 消火器（ABC 消火 器：A003） IF-02-写 05	 屋内消火栓 （A002） IF-01-写 06	 水噴霧消火設備 （操作盤：A004） IF-02-写 07	 水噴霧消火設備 （制御弁：A005） IF-03-写 07		
設置場所の 消火方法 の状況						

図 23 (6/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-07-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 予備室 (A102) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-07-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 1 m ・屋内消火栓: 約 8 m	
		壁	 IF-07-写 02②	 天井 IF-07-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-07-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A102) IF-07-写 05	 屋内消火栓 (A106) IF-07-写 06		

図 23 (7/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 IF-08-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 予備室（A102） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-08-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析 所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離 精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機に おいて感知可能	
		消火設備	・消火器：約 3 m ・屋内消火栓：約 10 m	
	 壁 IF-08-写 02②	 天井 IF-08-写 02③	 床 IF-08-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-07-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A102） IF-07-写 05	 屋内消火栓（A106） IF-07-写 06		

図 23 (8/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴			
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 IF-09-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（アルコール等） 金属製容器 非密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上3階 カートン投入室（A305） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-09-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約5m 屋内消火栓：約15m 		
		壁 IF-09-写 02②	 壁 IF-09-写 02②	 天井 IF-09-写 02③	 床 IF-09-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 23 (9/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-10-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造
		設置場所 の状況	・地上3階 カートン投入室 (A305) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-10-写 02①	人の立入	・有り
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能
		消火設備	・消火器: 約 4 m ・屋内消火栓: 約 20 m
	 壁 IF-10-写 02②	 天井 IF-10-写 02③	 床 IF-10-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A305) IF-09-写 05	 屋内消火栓 (G306) IF-09-写 06	

図 23 (10/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 （A303 側） IF-11-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 カートン投入室（A305） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-11-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析 所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離 精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機に おいて感知可能	
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 20 m	
	 壁 IF-11-写 02②	 天井 IF-11-写 02③	 床 IF-11-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06		

図 23 (11/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物（A309 側） IF-12-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造		
		設置場所の状況	・地上 3 階 カートン投入室（A305） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し		
防護対象の周囲の状況	 周囲 IF-12-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 22 m		
	 壁 IF-12-写 02②	 天井 IF-12-写 02③	 床 IF-12-写 02④		
設置場所の火災感知の方法の状況	 煙感知器 IF-09-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04			
設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06			

図 23 (12/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-13-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上3階 更衣室 (A302) 天井: コンクリート (吊天井: せっこうボード) 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-13-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 5 m ・屋内消火栓: 約 28 m		
		壁	 IF-13-写 02②	 天井 IF-13-写 02③	 床 IF-13-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-13-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A302) IF-13-写 05	 屋内消火栓 (G306) IF-09-写 06			

図 23 (13/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 廃活性炭供給槽 (342V25) IF-14-写 01	防護対象	・廃活性炭供給槽 (342V25) 金属製貯槽 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 廃活性炭供給室 (A308) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ステンレス仕上げ) 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-14-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・槽類換気系配管に温度上限警報装置 (342TA+ 25.2) を設置し、上部付近に煙感知器有り。 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能	
		消火設備	・消火器 (車載式消火器)：約3m ・屋内消火栓：約6m ・水噴霧消火設備 ・炭酸ガス消火設備	
	 壁 IF-14-写 02②	 天井 IF-14-写 02③	 床 IF-14-写 02④	

設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-14-写 03①	 温度上限警報装置 (熱電対：A308) IF-14-写 03②	 煙感知器 (受信 機：G310) IF-01-写 04	 温度上限警報装置 (制御盤：G310) IF-03-写 04
-------------------------	--	--	---	---






設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (車載式 消火器： A308) IF-14-写 05	 屋内消火栓 (G306) IF-09-写 06	 水噴霧消火設備 (操作盤： A309) IF-14-写 07①	 水噴霧消火設備 (制御弁： A309) IF-14-写 07②	 炭酸ガス消火設 備 (操作盤： A308) IF-14-写 07③
----------------------	--	--	---	---	---

図 23 (14/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所）又は 低放射性固体廃棄物 IF-15-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所）又は低放射性固体廃棄物 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 機材室（A309） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-15-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析 所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離 精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機に おいて感知可能	
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 12 m	
		壁	 IF-15-写 02②	 天井 IF-15-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-15-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A305） IF-09-写 05	 屋内消火栓（G306） IF-09-写 06		

図 23 (15/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴			
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 IF-16-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（塗料等） 金属製容器 非密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上4階 冷却用送風機室（A403） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-16-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り 焼却施設（IF）制御室（G310）の受信機、分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 10 m 屋内消火栓：約 15 m 		
		壁	 壁 IF-16-写 02②	 天井 IF-16-写 02③	 床 IF-16-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-16-写 03	 受信機（G310） IF-01-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A403） IF-16-写 05	 屋内消火栓（G404） IF-16-写 06			

図 23 (16/17) 焼却施設（IF）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) IF-17-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 4 階 排風機室 (A405) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 IF-17-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機、分析 所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離 精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機に おいて感知可能		
	消火設備	・消火器: 約 4 m ・屋内消火栓: 約 10 m		
	 壁 IF-17-写 02②	 天井 IF-17-写 02③	 床 IF-17-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 IF-17-写 03	 受信機 (G310) IF-01-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A405) IF-17-写 05	 屋内消火栓 (G404) IF-16-写 06		

図 23 (17/17) 焼却施設 (IF) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

24.アスファルト固化処理施設(ASP)






表 24 アスファルト固化処理施設(ASP)プラントウォークダウン結果まとめ (1/1)

No	階層	防護対象 ^注	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)	最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)	その他の消火設備 (部屋/距離 m)				
01	B2F - B1F	廃液受入貯槽 (A12V21)	R051	-	ASP-01-写 02	-	-	-	-	-	-	-	-	・セル内機器
02	B2F - B1F	廃液受入貯槽 (A12V20)	R052	-	ASP-02-写 02	-	-	-	-	-	-	-	-	・セル内機器
03	B1F	指定可燃物 (アスファルト貯槽 A21V45)	G018	ASP-03-写 01	ASP-03-写 02	ASP-03-写 03 (煙感知器:3基)	ASP-03-写 04 (G218)	ASP-03-写 05 (G018)	約 6 m	ASP-03-写 06 (A031)	約 22 m	ASP-03-写 07 (水噴霧消火設備 制御弁:G015)	-	・アスファルト原料
04	1F	仕掛品 (保管場所)	G113	ASP-04-写 01	ASP-04-写 02	ASP-04-写 03 (煙感知器:1基)	同上	ASP-04-写 05 (G112)	約 6 m	ASP-04-写 06 (A131)	約 25 m	-	-	
05	2F	仕掛品 (置場)	A236	ASP-05-写 01	ASP-05-写 02	ASP-05-写 03 (煙感知器:3基)	同上	ASP-05-写 05 (A236)	約 12 m	ASP-05-写 06 (G216)	約 25 m	-	-	
06	3F	少量未満危険物	A314	ASP-06-写 01	ASP-06-写 02	ASP-06-写 03 (煙感知器:1基)	同上	ASP-06-写 05 (A314)	約 10 m	ASP-06-写 06 (G311)	約 15 m	-	-	・潤滑油等

注 「別添 6-1-3-4 高放射性廃液貯蔵場(HAW), ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の「表 3-1 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和 2 年 6 月末時点)」に示す放射性物質等、各施設の廃棄物の仕掛品(置場及び保管場所)、危険物(少量未満危険物を含む。)



 管理区域


調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

図24(1)アスファルト固化処理施設(ASP) 地下2階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

図24(2)アスファルト固化処理施設(ASP) 地下1階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未消危険物を含む。)
	指定可燃物



火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

図24(3)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上1階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未消危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

図24(4)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上2階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未消危険物を含む。)
	指定可燃物


火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

図24(5)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上3階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未消危険物を含む。)
	指定可燃物





火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

図24(6)アスファルト固化処理施設(ASP) 地上4階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未消危険物を含む。)
	指定可燃物

火災感知設備	
	熱感知器
	煙感知器
	総合盤
	受信機

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	水噴霧消火設備

図24(7)アスファルト固化処理施設(ASP) 屋上平面図


		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	/	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・廃液受入貯槽 (A12V21) 金属製貯槽 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下2階～地下1階 廃液受入貯蔵セル (R051) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ライニング仕上げ) 照明：無し 	
		人の立入	・無し	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	/	火災感知設備	・無し	
		消火設備	・無し	
		 <p>セル壁 (A037側) ASP-01-写02</p>		
		/		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/			
設置場所の 消火方法 の状況	/			

図 24 (1/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果


		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	/	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・廃液受入貯槽 (A12V20) 金属製貯槽 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下2階～地下1階 廃液受入貯蔵セル (R052) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ライニング仕上げ) 照明：無し 	
		人の立入	・無し	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	/	火災感知設備	・無し	
		消火設備	・無し	
			/	/
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/			
設置場所の 消火方法 の状況	/			

図 24 (2/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 <p>指定可燃物 アスファルト貯槽 (A21V45) ASP-03-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 指定可燃物 (アスファルト原料) アスファルト貯槽 (A21V45) 密封構造 	
		設置場所の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階 アスファルト貯蔵室 (G018) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: あり 	
防護対象の周囲の状況	 <p>周囲 ASP-03-写 02①</p>	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設(ASP)制御室(G218)の受信機、第三低放射性蒸発処理施設(Z)第2安全管理室(G204)の受信機、分析所(CB)の安全管理室(G220)の受信機及び分離精製工場(MP)中央制御室(G549)受信機において感知可能 	
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器: 約 6 m 屋内消火栓: 約 22 m 水噴霧消火設備 	
	 <p>壁 ASP-03-写 02②</p>	 <p>天井 ASP-03-写 02③</p>	 <p>床 ASP-03-写 02④</p>	
設置場所の火災感知の方法の状況	 <p>煙感知器 ASP-03-写 03</p>	 <p>受信機 (G218) ASP-03-写 04</p>		
設置場所の消火方法の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器: G018) ASP-03-写 05</p>	 <p>屋内消火栓 (A031) ASP-03-写 06</p>	 <p>水噴霧消火設備 (制御弁: G015) ASP-03-写 07</p>	

図 24 (3/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴



防護対象の設置状況	 仕掛品 (保管場所) ASP-04-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 金属製棚 (不燃シート養生) 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上 1 階 薬品貯蔵室 (G113) 天井: コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明: あり	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設 (ASP) 制御室 (G218) の受信機、第三低放射性蒸発処理施設 (Z) 第 2 安全管理室 (G204) の受信機、分析所 (CB) の安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) 受信機において感知可能	
消火設備	・消火器 : 約 6 m ・屋内消火栓 : 約 25 m			
防護対象の周囲の状況	 周囲 ASP-04-写 02①	 壁 ASP-04-写 02②	 天井 ASP-04-写 02③	 床 ASP-04-写 02④
設置場所の火災感知の方法の状況	 煙感知器 ASP-04-写 03	受信機 (G218) ASP-03-写 04		
設置場所の消火方法の状況	消火器 (ABC 消火器: G112) ASP-04-写 05	屋内消火栓 (A131) ASP-04-写 06		

図 24 (4/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) ASP-05-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上 2 階 更衣室 (A236) 天井: コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明: あり		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ASP-05-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設 (ASP) 制御室 (G218) の受信機、第三低放射性蒸発処理施設 (Z) 第 2 安全管理室 (G204) の受信機、分析所 (CB) の安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) 受信機において感知可能		
		消火設備	・消火器 : 約 12 m ・屋内消火栓 : 約 25 m		
	壁 ASP-05-写 02②	 天井 ASP-05-写 02③	 床 ASP-05-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ASP-05-写 03	 受信機 (G218) ASP-03-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器: A236) ASP-05-写 05	 屋内消火栓 (G216) ASP-05-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 24 (5/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 ASP-06-写 01	防護対象	・少量未満危険物（潤滑油等） 金属製棚 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 エアロック（A314） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：あり	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 ASP-06-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り アスファルト固化処理施設(ASP)制御室(G218) の受信機、第三低放射性蒸発処理施設(Z)第2安全 管理室(G204)の受信機、分析所(CB)の安全 管理室(G220)の受信機及び分離精製工場(MP) 中央制御室(G549)受信機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 15 m	
	 壁 ASP-06-写 02②	 天井 ASP-06-写 02③	 床 ASP-06-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 ASP-06-写 03	 受信機 (G218) ASP-03-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : A314) ASP-06-写 05	 屋内消火栓 (G311) ASP-06-写 06		

図 24 (6/6) アスファルト固化処理施設 (ASP) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

25.分析所(CB)

表 25 分析所 (CB)プラントウォークダウン結果まとめ(1/4)

No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)	最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)	その他の消火設備 (部屋/距離 m)				
01	B1F	中間貯槽 (108V10、V11)	R027	—	CB-01-写 02	—	—	—	—	—	—	—	—	分析試料等は工程 洗浄により処理済 み
02	B1F	中間貯槽 (108V20、V21)	R026	—	CB-02-写 02	—	—	—	—	—	—	—	—	
03	B1F	中間貯槽 (108V30、V31)	R025	—	CB-03-写 02	—	—	—	—	—	—	—	—	
04	B1F	少量未満危険物	A020	CB-04-写 01	CB-04-写 02	CB-04-写 03 [※] (煙感知器:1基)	CB-04-写 04 (Q220)	CB-04-写 05 (A020)	約 5 m	CB-04-写 06 (W004)	約 10 m	—	—	・ネオコーゼー等 ※1Fに設置
05	B1F	仕掛品 (保管場所)	A021	CB-05-写 01	CB-05-写 02	CB-05-写 03 (熱感知器:10基)	同上	同上	約 15 m	同上	約 20 m	—	—	
06	B1F	仕掛品 (置場)	A023	CB-06-写 01	CB-06-写 02	CB-06-写 03 (熱感知器:24基)	同上	CB-06-写 05 (A023)	約 6 m	同上	約 35 m	—	—	
07	B1F	少量未満危険物	W040	CB-07-写 01	CB-07-写 02	CB-07-写 03 (熱感知器:17基)	同上	CB-07-写 05 (W040)	約 1 m	CB-07-写 06 (W040)	約 15 m	—	—	・オイル等
08	B1F	少量未満危険物	W006	CB-08-写 01	CB-08-写 02	CB-08-写 03 (熱感知器:11基)	同上	CB-08-写 05 (W006)	約 5 m	CB-04-写 06 (W004)	約 15 m	—	—	・オイル等
09	1F	仕掛品 (置場) (北側)	G104	CB-09-写 01	CB-09-写 02	CB-09-写 03 (熱感知器:10基)	同上	CB-09-写 05 (G104)	約 8 m	CB-09-写 06 (G103)	約 20 m	—	—	
10	1F	仕掛品 (置場) (南側)	G104	CB-10-写 01	CB-10-写 02	CB-10-写 03 (熱感知器:10基)	同上	CB-10-写 05 (G104)	約 12 m	同上	約 25 m	—	—	
11	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G105	CB-11-写 01	CB-11-写 02	CB-11-写 03 (熱感知器:8基)	同上	CB-11-写 05 (G105)	約 20 m	同上	約 35 m	—	—	
12	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G105	CB-12-写 01	CB-12-写 02	同上	同上	同上	約 10 m	同上	約 30 m	—	—	
13	1F	仕掛品 (置場)	G107	CB-13-写 01	CB-13-写 02	CB-13-写 03 (熱感知器:7基)	同上	CB-13-写 05 (G109)	約 5 m	同上	約 10 m	—	—	
14	1F	仕掛品 (置場)	G108	CB-14-写 01	CB-14-写 02	CB-14-写 03 (熱感知器:7基)	同上	CB-14-写 05 (G108)	約 1 m	同上	約 20 m	—	—	
15	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G117	CB-15-写 01	CB-15-写 02	CB-15-写 03 (熱感知器:3基)	同上	CB-15-写 05 (G117)	約 2 m	同上	約 5 m	—	—	
16	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G117	CB-16-写 01	CB-16-写 02	CB-16-写 03 (熱感知器:3基)	同上	同上	約 10 m	同上	約 15 m	—	—	
17	1F	少量未満危険物	G117	CB-17-写 01	CB-17-写 02	CB-15-写 03 (熱感知器:3基)	同上	同上	約 1 m	同上	約 5 m	—	—	・メチルアルコール 等
18	1F	分析試料 (G.B II-1)	G116	CB-18-写 01	CB-18-写 02	CB-18-写 03 (熱感知器:4基)	同上	CB-18-写 05 (G116)	約 5 m	同上	約 15 m	—	—	・QB内に加熱機器 がなく消火用バルブ を設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105の CO ₂ 消 火器を使用可。

表 25 分析所 (CB)プラントワークダウン結果まとめ(2/4)

No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
19	1F	仕掛品 (置場)	G116	CB-19-写 01	CB-19-写 02	CB-19-写 03 (熱感知器:4 基)	CB-04-写 04 (G220)	CB-18-写 05 (G116)	約 15 m	CB-09-写 06 (G103)	約 25 m	—	—	
20	1F	分析試料 (G.B I-1)	G115	CB-20-写 01	CB-20-写 02	CB-20-写 03 (熱感知器:4 基)	同上	CB-20-写 05 (G115)	約 10 m	CB-20-写 06 (G103)	約 20 m	—	—	・GB 内に加熱機器がなく消火用バルブを設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
21	1F	分析試料 (G.B I-3)	G115	CB-21-写 01	CB-21-写 02	同上	同上	同上	約 10 m	同上	約 20 m	CB-21-写 07 (G115)	—	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
22	1F	分析試料 (G.B I-4)	G115	CB-22-写 01	CB-22-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 15 m	CB-22-写 07 (G115)	—	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
23	1F	分析試料 (G.B II-3)	G115	CB-23-写 01	CB-23-写 02	CB-23-写 03 (熱感知器:4 基)	同上	同上	約 5 m	同上	約 15 m	CB-23-写 07 (G115)	—	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
24	1F	分析試料 (G.B II-5)	G115	CB-24-写 01	CB-24-写 02	CB-20-写 03 (熱感知器:4 基)	同上	同上	約 10 m	同上	約 20 m	—	—	・GB 内に加熱機器がなく消火用バルブを設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
25	1F	仕掛品 (置場)	G115	CB-25-写 01	CB-25-写 02	CB-25-写 03 (熱感知器:4 基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 25 m	—	—	
26	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G123	CB-26-写 01	CB-26-写 02	CB-26-写 03 (熱感知器:5 基)	同上	CB-26-写 05 (G122)	約 5 m	同上	約 15 m	—	—	
27	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G123	CB-27-写 01	CB-27-写 02	CB-27-写 03 (熱感知器:5 基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 20 m	—	—	
28	1F	少量未満危険物	G123	CB-28-写 01	CB-28-写 02	CB-26-写 03 (熱感知器:5 基)	同上	CB-28-写 05 (G103)	約 5 m	同上	約 15 m	—	—	・ピリジン
29	1F	分析試料 (G.B No.4)	G124	CB-29-写 01	CB-29-写 02	CB-29-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	CB-29-写 05 (G124)	約 3 m	同上	約 24 m	CB-29-写 07 (G124)	—	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
30	1F	分析試料 (G.B No.5)	G124	CB-30-写 01	CB-30-写 02	CB-30-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 24 m	CB-30-写 07 (G124)	—	・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
31	1F	分析試料 (G.B No.7)	G124	CB-31-写 01	CB-31-写 02	CB-29-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	同上	約 3 m	同上	約 20 m	—	—	・GB 内に加熱機器がなく消火用バルブを設置していない。 ・必要に応じ G104 及び G105 の CO ₂ 消火器を使用可。
32	1F	仕掛品 (置場) (東側)	G124	CB-32-写 01	CB-32-写 02	CB-30-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 24 m	—	—	
33	1F	仕掛品 (置場) (西側)	G124	CB-33-写 01	CB-33-写 02	CB-29-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 24 m	—	—	

表 25 分析所 (CB)プラントウォークダウン結果まとめ(3/4)

No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
34	1F	仕掛品 (置場)	G125	CB-34-写 01	CB-34-写 02	CB-34-写 03 (熱感知器:1基)	CB-04-写 04 (G220)	CB-34-写 05 (G125)	約 2 m	CB-09-写 06 (G103)	約 20 m	—	—	
35	1F	仕掛品 (置場)	G129	CB-35-写 01	CB-35-写 02	CB-35-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-35-写 05 (G129)	約 6 m	CB-20-写 06 (G103)	約 30 m	—	—	
36	B1F	標準物質 (置場)	G014	CB-36-写 01	CB-36-写 02	CB-36-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-36-写 05 (G014)	約 6 m	CB-36-写 06 (W007)	約 14 m	—	—	
37	1F	仕掛品 (保管場所) (北側)	G120	CB-37-写 01	CB-37-写 02	CB-37-写 03 (熱感知器:2基)	同上	CB-37-写 05 (G120)	約 6 m	CB-20-写 06 (G103)	約 12 m	—	—	
38	1F	仕掛品 (保管場所) (南側)	G120	CB-38-写 01	CB-38-写 02	CB-38-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 12 m	同上	約 18 m	—	—	
39	1F	少量未滴危険物	G120	CB-39-写 01	CB-39-写 02	CB-37-写 03 (熱感知器:2基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 12 m	—	—	・酢酸エチル等
40	1F	仕掛品 (保管場所)	G142	CB-40-写 01	CB-40-写 02	CB-40-写 03 (熱感知器:3基)	同上	CB-40-写 05 (G142)	約 6 m	CB-40-写 06 (G141)	約 15 m	—	—	
41	1F	仕掛品 (置場)	G142	CB-41-写 01	CB-41-写 02	CB-41-写 03 (熱感知器:3基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 18 m	—	—	
42	1F	少量未滴危険物	G142	CB-42-写 01	CB-42-写 02	同上	同上	同上	約 6 m	同上	約 24 m	—	—	・潤滑油等
43	1F	仕掛品 (置場)	G144	CB-43-写 01	CB-43-写 02	CB-43-写 03 (熱感知器:7基)	同上	CB-43-写 05 (G141)	約 8 m	同上	約 8 m	—	—	
44	1F	仕掛品 (保管場所)	A114	CB-44-写 01	CB-44-写 02	CB-44-写 03 (熱感知器:4基)	同上	CB-44-写 05 (A114)	約 3 m	CB-20-写 06 (G103)	約 18 m	—	—	
45	1F	仕掛品 (置場)	A114	CB-45-写 01	CB-45-写 02	同上	同上	同上	約 1 m	同上	約 18 m	—	—	
46	1F	少量未滴危険物	A114	CB-46-写 01	CB-46-写 02	同上	同上	同上	約 6 m	同上	約 18m	—	—	・アセトン等
47	1F	仕掛品 (保管場所)	A146	CB-47-写 01	CB-47-写 02	CB-47-写 03 [※] (煙感知器:2基、熱感知器:3基)	同上	CB-47-写 05 (A146)	約 14 m	CB-40-写 06 (G141)	約 14 m	—	—	吹抜け ※2Fに設置
48	1F	仕掛品 (置場)	A146	CB-48-写 01	CB-48-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 14 m	—	—	吹抜け
49	2F	仕掛品 (置場)	G222	CB-49-写 01	CB-49-写 02	CB-49-写 03 (熱感知器:8基)	同上	CB-49-写 05 (G222)	約 6 m	CB-49-写 06 (G216)	約 24 m	—	—	
50	3F	仕掛品 (置場)	G313	CB-50-写 01	CB-50-写 02	CB-50-写 03 (熱感知器:5基)	同上	CB-50-写 05 (G314)	約 12 m	CB-50-写 06 (G328)	約 20 m	—	—	





表 25 分析所 (CB)プラントワークダウン結果まとめ(4/4)

No	階層	防護対象 [※]	防護対象の設置場所	防護対象の設置場所の状況		設置場所の火災感知の方法の状況		設置場所の消火方法の状況					備考	
				設置状況	周囲の状況	感知器 (基数)	受信機 (設置部屋)	最寄りの消火器 (部屋/距離 m)		最寄りの屋内消火栓 (部屋/距離 m)		その他の消火設備 (部屋/距離 m)		
51	3F	仕掛品 (保管場所)	G315	CB-51-写 01	CB-51-写 02	CB-51-写 03 (熱感知器:3 基)	CB-04-写 04 (G220)	CB-51-写 05 (G315)	約 6 m	CB-50-写 06 (G328)	約 20 m	—	—	
52	3F	少量未満危険物	G316	CB-52-写 01	CB-52-写 02	CB-53-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	CB-52-写 05 (G328)	約 14 m	同上	約 8 m	—	—	・エチレンアルコール等
53	3F	仕掛品 (置場)	G311	CB-53-写 01	CB-53-写 02	同上	同上	CB-53-写 05 (G311)	約 3 m	同上	約 10 m	—	—	
54	3F	仕掛品 (置場)	G322	CB-54-写 01	CB-54-写 02	CB-54-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	CB-52-写 05 (G328)	約 14 m	同上	約 8 m	—	—	
55	3F	仕掛品 (置場)	A323	CB-55-写 01	CB-55-写 02	CB-55-写 03 (熱感知器:2 基)	同上	CB-55-写 05 (A324)	約 8 m	同上	約 14 m	—	—	
56	3F	少量未満危険物	A323	CB-56-写 01	CB-56-写 02	同上	同上	同上	約 8 m	同上	約 14 m	—	—	・モノエタノールアミン等
57	3F	仕掛品 (保管場所)	A324	CB-57-写 01	CB-57-写 02	CB-57-写 03 (熱感知器:6 基)	同上	同上	約 6 m	同上	約 12 m	—	—	
58	3F	仕掛品 (置場)	A324	CB-58-写 01	CB-58-写 02	CB-58-写 03 (熱感知器:6 基)	同上	同上	約 17 m	同上	約 23 m	—	—	
59	B1F	少量未満危険物	W004	CB-59-写 01	CB-59-写 02	CB-59-写 03 (熱感知器:54 基)	同上	CB-59-写 05 (W004)	約 1 m	CB-36-写 06 (W007)	約 5 m	—	—	・シリレンダー油

注 「別添 6-1-3-4 高放射性廃液貯蔵場(HAW), ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の「表 3-1 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和 2 年 6 月末時点)」に示す放射性物質等、各施設の廃棄物の仕掛品(置場及び保管場所)、危険物(少量未満危険物を含む。)



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)





火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報 (FDT)

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	運給送水設備送水口

図25(1)分析所(GB) 地下1階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)





火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	遠給送水設備送水口

図25(2)分析所(GB) 地上1階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)





火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	運転送水設備送水口

図25(3)分析所(GB) 地上2階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)





火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO2消火器
	連結送水設備送水口

図25(4)分析所(CB) 地上3階平面図



 管理区域

調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)

火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排用煙感知器
	観合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)

消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO2消火器
	運給送水設備送水口

図25(5)分析所(CB) PH階平面図

火災防護上の特徴


防護対象 の設置状況	/	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、防護対象（中間貯槽 108V10、V11）の分析試料等は工程洗浄により送液済み 金属製貯槽 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下1階 廃液貯蔵セル（R027） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	
		人の立入	・無し	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	/	火災感知設備	・無し	
		消火設備	・無し	
		 <p>壁 CB-01-写02</p>	/	/
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/	/		
設置場所の 消火方法 の状況	/	/		

図 25 (1/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果


		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	/	防護対象	・中間貯槽（108V20、V21） 金属製貯槽 密封構造
		設置場所 の状況	・地下1階 廃液貯蔵セル（R026） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
		人の立入	・無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	・無し
防護対象の 周囲の状況	/	消火設備	・無し
		 壁 CB-02-写02	/
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/	/	
設置場所の 消火方法 の状況	/	/	

図 25 (2/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果


		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	/	防護対象	・中間貯槽（108V30、V31） 金属製貯槽 密封構造
		設置場所 の状況	・地下1階 廃液貯蔵セル（R025） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
		人の立入	・無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	・無し
		消火設備	・無し
防護対象の 周囲の状況	/	/	/
	 <p>壁 CB-03-写02</p>		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	/	/	/
設置場所の 消火方法 の状況	/	/	/

図 25 (3/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-04-写 01	防護対象	・少量未満危険物（ネオゴーゼ等） 金属製棚 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地下1階 階段（A020） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-04-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 10 m	
		壁 CB-04-写 02②	 天井 CB-04-写 02③	 床 CB-04-写 02④
				
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 CB-04-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
	 消火器（ABC 消火器：A020） CB-04-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A020） CB-04-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06		

図 25 (4/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（保管場所） CB-05-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地下1階 保守区域（A021） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-05-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 15 m ・屋内消火栓：約 20 m	
		 壁 CB-05-写 02②	 天井 CB-05-写 02③	 床 CB-05-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-05-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A020） CB-04-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06	

図 25 (5/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） CB-06-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地下1階 排風機及びフィルタ室（A023） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 35 m				
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-06-写 02①	 壁 CB-06-写 02②	 天井 CB-06-写 02③	 床 CB-06-写 02④	
			設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-06-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04
			設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A023） CB-06-写 05	 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06

図 25 (6/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-07-写 01	防護対象	・少量未満危険物（オイル等） 金属製棚 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地下1階 試験室の地下（W040） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-07-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 1 m ・屋内消火栓：約 15 m	
		壁	 壁 CB-07-写 02②	 天井 CB-07-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-07-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：W040） CB-07-写 05	 屋内消火栓（W040） CB-07-写 06		

図 25 (7/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-08-写 01		防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（オイル等） 金属製容器 密封構造
			設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階 入気室（W006） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
			人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り
			防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-08-写 02①		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能
	 壁 CB-08-写 02②		 天井 CB-08-写 02③	 床 CB-08-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-08-写 03		 受信機（G220） CB-04-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：W006） CB-08-写 05		 屋内消火栓（W004） CB-04-写 06	

図 25 (8/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （北側） CB-09-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品（置場） ・金属製容器 ・非密封構造 		
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上1階 高放射性分析室（G104） ・天井：コンクリート ・壁：コンクリート ・床：コンクリート ・照明：有り 		
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-09-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に熱感知器有り ・分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 		
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 20 m 		
	 壁 CB-09-写 02②	 天井 CB-09-写 02③	 床 CB-09-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-09-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：G104） CB-09-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 25 (9/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （南側） CB-10-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 高放射性分析室（G104） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-10-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 25 m		
		壁	 壁 CB-10-写 02②	 天井 CB-10-写 02③	 床 CB-10-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-10-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G104） CB-10-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06		

図 25（10/59）分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （東側） CB-11-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 高放射性分析室（G105） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-11-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 20 m ・屋内消火栓：約 35 m		
		壁	 壁 CB-11-写 02②	 天井 CB-11-写 02③	 床 CB-11-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-11-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：G105） CB-11-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況					

図 25 (11/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （西側） CB-12-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 高放射性分析室（G105） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-12-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 30 m		
		壁	 壁 CB-12-写 02②	 天井 CB-12-写 02③	 床 CB-12-写 02④
壁	床				
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-11-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
	 消火器（ABC 消火器：G105） CB-11-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G105） CB-11-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06			

図 25 (12/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-13-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 1 階 中放射性分析室 (G107) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-13-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器 : 約 5 m ・屋内消火栓 : 約 10 m	
		 壁 CB-13-写 02②	 天井 CB-13-写 02③	 床 CB-13-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-13-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : G109) CB-13-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06		

図 25 (13/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-14-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 中放射性分析室 (G108) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-14-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 1 m ・屋内消火栓: 約 20 m		
	 壁 CB-14-写 02②	 天井 CB-14-写 02③	 床 CB-14-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-14-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G108) CB-14-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			

図 25 (14/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴


防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （東側） CB-15-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 化学準備室（G117） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-15-写 02①	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能				
	消火設備	・消火器：約 2 m ・屋内消火栓：約 5 m				
壁（対面の壁） CB-15-写 02②	 壁（対面の壁） CB-15-写 02②	 天井 CB-15-写 02③	 床 CB-15-写 02④			
				設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-15-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04
				設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G117） CB-15-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06

図 25 (15/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （西側） CB-16-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 化学・準備室（G117） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-16-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 15 m		
	 壁 CB-16-写 02②	 天井 CB-16-写 02③	 床 CB-16-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-16-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G117） CB-15-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06			

図 25 (16/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-17-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（メチルアルコール等） 金属製容器 非密封構造
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 化学・準備室（G117） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-17-写 02①	人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 資材等
	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能 	
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 1 m 屋内消火栓：約 5 m 	
	 壁 CB-17-写 02②	 天井 CB-17-写 02③	 床 CB-17-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-15-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G117） CB-15-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-09-写 06	

図 25（17/59）分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B II-1) CB-18-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B II-1) グローブボックス 密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G116) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-18-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 15 m		
		壁	 壁 CB-18-写 02②	 天井 CB-18-写 02③	 床 CB-18-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-18-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 消火器 (ABC 消火器：G116) CB-18- 写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G116) CB-18- 写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06			

図 25 (18/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 <p>仕掛品 (置場) CB-19-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 			
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上1階 低放射性分析室 (G116) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 			
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 			
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 CB-19-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能 			
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 15 m ・屋内消火栓：約 25 m 			
		壁	 <p>壁 CB-19-写 02②</p>	 <p>天井 CB-19-写 02③</p>	 <p>床 CB-19-写 02④</p>	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器：G116) CB-18-写 05</p>					 <p>屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06</p>

図 25 (19/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴




防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B I-1) CB-20-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B I-1) グローブボックス 密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-20-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 20 m		
		壁 (G.B III-3 の背面) CB-20-写 02②	天井	 天井 CB-20-写 02③	
			床	 床 CB-20-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03		 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06			

図 25 (20/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴				
防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B I-3) CB-21-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 分析試料 (G.B I-3) グローブボックス 密封構造 			
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 			
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> 有り 			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> 無し 			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-21-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 			
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 10 m 屋内消火栓：約 20 m 			
		壁 (G.B III-3 背面の壁) CB-21-写 02②	 天井 CB-21-写 02③	 床 CB-21-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04				
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器： G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 G.B 内の消火用バルブ CB-21-写 07			

図 25 (21/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴


防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B I-4) CB-22-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B I-4) グローブボックス 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-22-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器: 約 8 m ・屋内消火栓: 約 15 m		
	 壁 (G.B III-3 背面の壁) CB-22-写 02②	 天井 CB-22-写 02③	 床 CB-22-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 消火用バルブ G.B 内の消火用バルブ CB-22-写 07

図 25 (22/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴




防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B II-3) CB-23-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B II-3) グローブボックス 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-23-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器: 約 5 m ・屋内消火栓: 約 15 m		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 壁 (背面の壁) CB-23-写 02②	 天井 CB-23-写 02③	 床 CB-23-写 02④	
	 熱感知器 CB-23-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 消火用バルブ G.B 内の消火用バルブ CB-23-写 07

図 25 (23/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴



防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B II-5) CB-24-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B II-5) グローブボックス 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 低放射性分析室 (G115) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-24-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器：約 10 m ・屋内消火栓：約 20 m		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-20-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 天井 CB-24-写 02③	 床 CB-24-写 02④		
	 壁 (G.B III-3 背面の壁) CB-24-写 02②			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G115) CB-20-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06		

図 25 (24/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴




防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-25-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上 1 階 低放射性分析室 (G115) 天井: コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明: 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-25-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器 : 約 12 m ・屋内消火栓: 約 25 m			
		壁	 壁 CB-25-写 02②	 天井 CB-25-写 02③	 床 CB-25-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G115) CB-20-写 05					 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06

図 25 (25/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況		防護対象		・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造
	仕掛品（置場） （東側） CB-26-写 01	設置場所 の状況		・地上1階 特殊分析室（G123） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
防護対象の 周囲の状況		人の立入		・有り
		防護対象近傍の 危険物・可燃物		・無し
	火災感知設備		・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
	消火設備		・消火器：約 5 m ・屋内消火栓：約 15 m	
壁		天井		
		床		
		CB-26-写 02②		CB-26-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況		熱感知器 CB-26-写 03		
		受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況		消火器（ABC 消火器：G122） CB-26-写 05		
		屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25 (26/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品（置場） （西側） CB-27-写 01	防護対象	・仕掛品（置場） 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 特殊分析室（G123） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-27-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 20 m			
		壁	 壁 CB-27-写 02②	 天井 CB-27-写 02③	 床 CB-27-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G122） CB-26-写 05					 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06

図 25 (27/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-28-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（ピリジン） 金属製容器 非密封構造
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 特殊分析室（G123） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-28-写 02①	人の立入	・有り
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機において感知可能
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 5 m 屋内消火栓：約 15 m
		 壁 CB-28-写 02②	 天井 CB-28-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-26-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G103） CB-28-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06

図 25 (28/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B No.4) CB-29-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 分析試料 (G.B No.4) グローブボックス 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 機器分析準備室 (G124) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り 	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-29-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 		
	消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器: 約 3 m 屋内消火栓: 約 24 m 		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-29-写 03	 天井 CB-29-写 02③	 床 CB-29-写 02④	
	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 G.B 内の消火用バルブ CB-29-写 07	

図 25 (29/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

		火災防護上の特徴		
防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B No.5) CB-30-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 分析試料 (G.B No.5) グローブボックス 密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上1階 機器分析準備室 (G124) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-30-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能 	
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 6 m 屋内消火栓：約 24 m 	
	 壁 CB-30-写 02②	 天井 CB-30-写 02③	 床 CB-30-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-30-写 03 (写真は CB-29-写 03)	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器： G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	 G.B 内の消火用バルブ CB-30-写 07

図 25 (30/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 分析試料 (G.B No.7) CB-31-写 01	防護対象	・分析試料 (G.B No.7) グローブボックス 密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 機器分析準備室 (G124) 天井: コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-31-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器 : 約 3 m ・屋内消火栓: 約 20 m	
	 壁 CB-31-写 02②	 天井 CB-31-写 02③	 床 CB-31-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-29-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	

図 25 (31/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴










防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-32-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 機器分析準備室 (G124) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-32-写 02①	人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 12 m ・屋内消火栓: 約 24 m		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-30-写 03 (写真は CB-29-写 03)	 受信機 (G220) CB-04-写 04			
	 壁 CB-32-写 02②	 天井 CB-32-写 02③	 床 CB-32-写 02④		
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06		

図 25 (32/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-33-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 機器分析準備室 (G124) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-33-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 24 m	
	 壁 CB-33-写 02②	 天井 CB-33-写 02③	 床 CB-33-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-29-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G124) CB-29-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06	

図 25 (33/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-34-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 蛍光X線分析室 (G125) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-34-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・資材	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器 : 約 2 m ・屋内消火栓: 約 20 m		
	 壁 CB-34-写 02②	 天井 CB-34-写 02③	 床 CB-34-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-34-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G125) CB-34-写 05	 屋内消火栓 (G103) CB-09-写 06		

図 25 (34/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴








防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-35-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 質量分析室 (G129) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-35-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 30 m			
		壁	 壁 CB-35-写 02②	 天井 CB-35-写 02③	 床 CB-35-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G129) CB-35-写 05					 屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06

図 25 (35/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

<p>防護対象 の設置状況</p>	 <p>北側 東側 標準物質（置場） CB-36-写 01</p>	<p>防護対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準物質（置場） 金属製容器 非密封構造 	
<p>防護対象の 周囲の状況</p>	 <p>北側 東側 周囲 CB-36-写 02①</p>	<p>設置場所 の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下1階 ガラス細工室（G014） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 	<p>人の立入</p> <ul style="list-style-type: none"> 有り <p>防護対象近傍の 危険物・可燃物</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し
<p>防護対象の 周囲の状況</p>	 <p>壁 CB-36-写 02②</p>	 <p>天井 CB-36-写 02③</p>	 <p>床 CB-36-写 02④</p>
<p>設置場所の 火災感知の 方法の状況</p>	 <p>熱感知器 CB-36-写 03</p>	 <p>受信機（G220） CB-04-写 04</p>	
<p>設置場所の 消火方法 の状況</p>	 <p>消火器（ABC 消火器：G014） CB-36-写 05</p>	 <p>屋内消火栓（W007） CB-36-写 06</p>	

図 25 (36/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品（保管場所） （北側） CB-37-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上1階 貯蔵室（G120） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-37-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機 において感知可能		
	消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 12 m		
	 壁 CB-37-写 02②	 天井 CB-37-写 02③	 床 CB-37-写 02④	
	設置場所の火災感知の方法の状況	 熱感知器 CB-37-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04	
	設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：G120） CB-37-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06	

図 25 (37/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品（保管場所） （南側） CB-38-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上1階 貯蔵室（G120） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
		人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-38-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機 において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 12 m ・屋内消火栓：約 18 m	
	 壁 CB-38-写 02②	 天井 CB-38-写 02③	 床 CB-38-写 02④	
	設置場所の火災感知の方法の状況	 熱感知器 CB-38-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04	
設置場所の消火方法の状況	 消火器（ABC 消火器：G120） CB-37-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25 (38/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-39-写 01	防護対象	・少量未満危険物（酢酸エチル等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 貯蔵室（G120） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-39-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 12 m	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 壁 CB-39-写 02②	 天井 CB-39-写 02③	 床 CB-39-写 02④	
	 熱感知器 CB-37-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
	 消火器（ABC 消火器：G120） CB-37-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25 (39/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-40-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 金属製容器 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 プルトニウム精製室 (G142) 天井: コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明: 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-40-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器 : 約 6 m ・屋内消火栓: 約 15 m			
		壁	 壁 CB-40-写 02②	 天井 CB-40-写 02③	 床 CB-40-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G142) CB-40-写 05					 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06

図 25 (40/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-41-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 プルトニウム精製室 (G142) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-41-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 18 m	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-41-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 壁 CB-41-写 02②	 天井 CB-41-写 02③	 床 CB-41-写 02④	
	 消火器 (ABC 消火器: G142) CB-40-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G142) CB-40-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06		

図 25 (41/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-42-写 01	防護対象	・少量未満危険物（潤滑油等） 金属製容器 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 プルトニウム精製室（G142） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-42-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 24 m		
	 壁 CB-42-写 02②	 天井 CB-42-写 02③	 床 CB-42-写 02④		
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-41-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04			
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G142） CB-40-写 05	 屋内消火栓（G141） CB-40-写 06			

図 25 (42/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-43-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) ・金属製容器 ・非密封構造 	
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上1階 試験セル操作区域 (G144) ・天井: コンクリート ・壁: コンクリート ・床: コンクリート ・照明: 有り 	
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-43-写 02①	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に熱感知器有り ・分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び ・分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 ・機において感知可能 	
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器: 約 8 m ・屋内消火栓: 約 8 m 	
		 壁 CB-43-写 02②	 天井 CB-43-写 02③	 床 CB-43-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-43-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G141) CB-43-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06		

図 25 (43/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-44-写 01	防護対象	・仕掛品（保管場所） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上1階 除染室（A114） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-44-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器：約 3 m ・屋内消火栓：約 18 m			
		壁	 壁 CB-44-写 02②	 天井 CB-44-写 02③	 床 CB-44-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A114） CB-44-写 05					 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06

図 25 (44/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	<p>仕掛品 (置場) CB-45-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 				
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上1階 除染室 (A114) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り 				
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 				
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 				
防護対象の 周囲の状況	<p>周囲 CB-45-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能 				
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器：約 1 m ・屋内消火栓：約 18 m 				
		壁	<p>壁 CB-45-写 02②</p>	天井	<p>天井 CB-45-写 02③</p>	床	<p>床 CB-45-写 02④</p>
設置場所の 火災感知の 方法の状況	<p>熱感知器 CB-44-写 03</p>	<p>受信機 (G220) CB-04-写 04</p>					
		設置場所の 消火方法 の状況	<p>消火器 (ABC 消火器：A114) CB-44-写 05</p>	<p>屋内消火栓 (G103) CB-20-写 06</p>			

図 25 (45/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-46-写 01	防護対象	・少量未満危険物（アセトン等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 除染室（A114） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-46-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 18 m	
		 壁 CB-46-写 02②	 天井 CB-46-写 02③	 床 CB-46-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-44-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A114） CB-44-写 05	 屋内消火栓（G103） CB-20-写 06		

図 25（46/59）分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-47-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 金属製棚 (不燃シート養生) 非密封構造		
		設置場所 の状況	・地上1階 試験セル保守区域 (A146) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り		
		人の立入	・有り		
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し		
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-47-写 02①	火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
		消火設備	・消火器: 約 14 m ・屋内消火栓: 約 20 m		
		壁	 壁 CB-47-写 02②	 天井 CB-47-写 02③	 床 CB-47-写 02④
		設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 CB-47-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A146) CB-47-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06			

図 25 (47/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-48-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上1階 試験セル保守区域 (A146) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-48-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に煙感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 8 m ・屋内消火栓: 約 14 m	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 CB-47-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 壁 CB-48-写 02②	 天井 CB-48-写 02③	 床 CB-48-写 02④	
	 消火器 (ABC 消火器: A146) CB-47-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A146) CB-47-写 05	 屋内消火栓 (G141) CB-40-写 06		

図 25 (48/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-49-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上 2 階 保健・物理モニタ室 (G222) 天井: コンクリート 壁: コンクリート (一部パーティション) 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-49-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機 において感知可能		
	消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 24 m		
設置場所の火災感知の方法の状況	 壁 (西側の壁) CB-49-写 02②	 天井 CB-49-写 02③	 床 CB-49-写 02④	
	 熱感知器 CB-49-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
	 消火器 (ABC 消火器: G222) CB-49-写 05	 屋内消火栓 (G216) CB-49-写 06		

図 25 (49/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴





防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-50-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 第1洗濯室 (G313) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-50-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器: 約 12 m ・屋内消火栓: 約 20 m		
	 壁 CB-50-写 02②	 天井 CB-50-写 02③	 床 CB-50-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-50-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G314) CB-50-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06	

図 25 (50/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴


防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-51-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 不燃シート養生 非密封構造				
		設置場所 の状況	・地上 3 階 裁縫室 (倉庫) (G315) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り				
		人の立入	・有り				
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し				
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-51-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能				
		消火設備	・消火器：約 6 m ・屋内消火栓：約 20 m				
		壁	 壁 CB-51-写 02②	 天井 CB-51-写 02③	 床 CB-51-写 02④		
						設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-51-写 03
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器：G315) CB-51-写 05					 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06	

図 25 (51/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-52-写 01	防護対象	・少量未満危険物（エチレンアルコール等） 金属製棚 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 廊下（G316） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-52-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・G311 に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 14 m ・屋内消火栓：約 8 m	
	 壁 CB-52-写 02②	 天井 CB-52-写 02③	 床 CB-52-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-53-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G328） CB-52-写 05	 屋内消火栓（G328） CB-50-写 06		

図 25 (52/59) 分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-53-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 事務室 (G311) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-53-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 3 m ・屋内消火栓: 約 10 m	
	 壁 CB-53-写 02②	 天井 CB-53-写 02③	 床 CB-53-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-53-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G311) CB-53-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06	

図 25 (53/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-54-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上 3 階 安全管理分室 (G322) 天井: コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-54-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器 : 約 14 m ・屋内消火栓: 約 8 m	
		壁	 壁 CB-54-写 02②	 天井 CB-54-写 02③
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-54-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: G328) CB-52-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06		

図 25 (54/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-55-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 除染室 (A323) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-55-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能		
	消火設備	・消火器: 約 8 m ・屋内消火栓: 約 14 m		
	 壁 CB-55-写 02②	 天井 CB-55-写 02③	 床 CB-55-写 02④	
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-55-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A324) CB-55-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06	

図 25 (55/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴






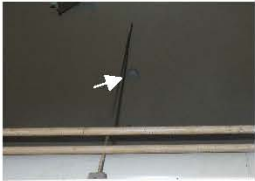


防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-56-写 01	防護対象	・少量未満危険物（モノエタノールアミン等） 金属製容器 非密封構造	
		設置場所 の状況	・地上3階 除染室（A323） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-56-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 8 m ・屋内消火栓：約 14 m	
		 壁 CB-56-写 02②	 天井 CB-56-写 02③	 床 CB-56-写 02④
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-55-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：A324） CB-55-写 05	 屋内消火栓（G328） CB-50-写 06		

図 25（56/59）分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 仕掛品 (保管場所) CB-57-写 01	防護対象	・仕掛品 (保管場所) 不燃シート養生 非密封構造			
		設置場所 の状況	・地上3階 第2洗濯室 (A324) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り			
		人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-57-写 02①	火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能			
		消火設備	・消火器: 約 6 m ・屋内消火栓: 約 12 m			
		壁	 壁 CB-57-写 02②	 天井 CB-57-写 02③	 床 CB-57-写 02④	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器: A324) CB-55-写 05					 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06

図 25 (57/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象の設置状況	 仕掛品 (置場) CB-58-写 01	防護対象	・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造	
		設置場所の状況	・地上3階 第2洗濯室 (A324) 天井: コンクリート 壁: コンクリート 床: コンクリート 照明: 有り	
防護対象の周囲の状況	 周囲 CB-58-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機 において感知可能	
		消火設備	・消火器: 約 17 m ・屋内消火栓: 約 23 m	
設置場所の周囲の状況	 壁 CB-58-写 02②	 天井 CB-58-写 02③	 床 CB-58-写 02④	
	設置場所の火災感知の方法の状況	 熱感知器 CB-58-写 03	 受信機 (G220) CB-04-写 04	
	設置場所の消火方法の状況	 消火器 (ABC 消火器: A324) CB-55-写 05	 屋内消火栓 (G328) CB-50-写 06	

図 25 (58/59) 分析所 (CB) の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 CB-59-写 01	防護対象	・少量未満危険物（シリンダー油） 金属製設備 密封構造	
		設置場所 の状況	・地下1階（W004） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 CB-59-写 02①	人の立入	・有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し	
		火災感知設備	・上部付近に熱感知器有り 分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機及び 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信 機において感知可能	
		消火設備	・消火器：約 1 m ・屋内消火栓：約 5 m	
	 壁 CB-59-写 02②	 天井 CB-59-写 02③	 床 CB-59-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 CB-59-写 03	 受信機（G220） CB-04-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：W004） CB-59-写 05	 屋内消火栓（W007） CB-36-写 06		

図 25（59/59）分析所（CB）の内部火災対策に係るプラントウォークダウン結果

低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)
硝酸根分解設備に係る実証プラント規模試験に向けた取り組み状況について

令和5年5月25日
再処理廃止措置技術開発センター

1. はじめに

低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)における硝酸根分解設備の実証プラント規模試験に向けて、令和4年度は、設置予定場所である実規模試験室内での試験装置の配置検討や試験に必要なユーティリティの確保に向けた検討を進めてきた。令和5年度は、実証プラント規模試験装置の製作/設置に向けた取り組みを進めており、現在の状況について報告する。

今後、実証プラント規模試験装置の製作/設置を進めたうえで、令和6年度より試験を開始することで、LWTFの液体系の運転開始時期(令和11年度)に影響を与えないよう対応を進めていく。

2. 現在の取り組み状況

実証プラント規模試験装置の製作/設置及び試験に用いる硝酸根分解用の触媒製作の早期着手に向け、現在、準備を進めている。試験装置の製作/設置、触媒の製作の両案件ともに、9月中の製作着手を目指している。

3. 実証プラント規模試験装置の基本仕様及び試験内容

実証プラント規模試験は、実機大で硝酸根が分解できることを検証することを目的とするため、硝酸根分解を行う分解槽の容量、形状、周囲の配管形状等は、実設備を模擬した構造としている。本装置を用いて実証プラント規模試験を行うことにより、実設備と同一スケールで「所定の硝酸根分解率を得るための操作条件」、「操作条件を変動させた場合の影響」、「運転時の廃液のハンドリング性(分解槽内から触媒を分離した廃液のみを抜き出せること)」等^{*}が把握でき、実設備の技術的成立性を実機大で確認することができる(^{*}試験内容の詳細は、参考資料(令和4年3月10日 規制庁面談資料)を参照)。

4. 試験装置の製作/設置等に要する期間

実証プラント規模試験装置の製作/設置については、装置製作メーカーとの調整を進め、約1.5年で製作及び設置工事が完了する見込みである〔内訳：装置製作（約13ヵ月）、現地工事（約3ヵ月）、試運転（約1ヶ月）〕。また、硝酸根分解用の触媒製作についても、約1.5年で製作を完了する見込みである。

製作開始後は、製作メーカーにおける材料手配から製作/設置までの工程に遅延が発生しないよう厳格な工程管理に努め、試験装置の製作/設置及び触媒製作を約1.5年で完了させた上で、令和6年度内に試験着手を目指すことで十分な試験期間を確保する。

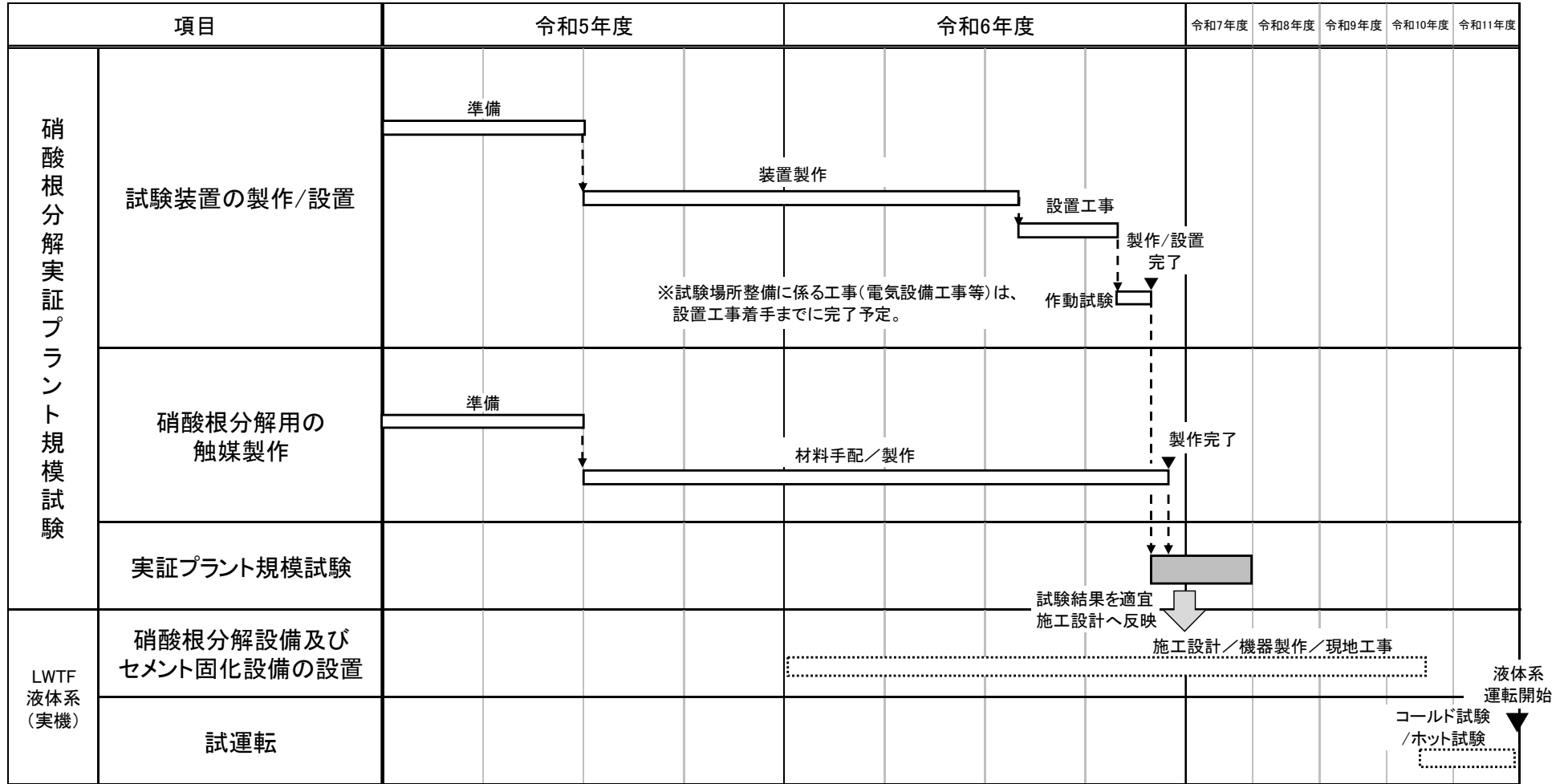
5. 今後の対応

今後は、実証プラント規模試験装置の製作/設置及び硝酸根分解用の触媒製作を進め、試験準備が整い次第、実証プラント規模試験を開始する。実証プラント規模試験では、上記の試験内容について順次確認することとしており、令和7年度までに必要なデータの取得を終了する計画である。なお、万一、想定外の試験結果が得られた場合には、実証プラント規模試験の結果とこれまでのピーカー規模及び工学規模試験の結果も踏まえて、処理条件や実機設計の見直しを行うことも考慮する。

実証プラント規模試験で得られた結果については、硝酸根分解設備の設置に係る廃止措置計画変更申請時に技術的成立性を説明する根拠として整理するとともに、試験と並行して実施予定の硝酸根分解設備（及びセメント固化設備）の施工設計にも反映する。本施工設計は実証プラント規模試験結果の影響を受けないセメント固化設備の設計を先行して進め、LWTFの液体系の運転開始時期（令和11年度）に影響を与えないよう進める。

以上

表-1 硝酸根分解実証プラント規模試験を踏まえたLWTF液体系運転開始に向けた概略スケジュール



※「硝酸根分解設備及びセメント固化設備の設置」、「試運転」に係る具体的なスケジュールについては、今後見通しが得られた段階で報告する。

実証プラント規模試験に係る試験計画について

令和4年3月10日
再処理廃止措置技術開発センター

1. はじめに

低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)に導入予定の硝酸根分解設備に係る実証プラント規模試験に向け、これまで試験計画の検討を進めており、検討結果について報告する。

2. 実証プラント規模試験の試験計画

LWTF におけるこれまでのビーカー規模及び工学規模試験内容の検証の結果、実機へスケールアップする際に実証プラント規模で充足すべきデータとして、下記の3項目を抽出している【添付資料-1】。

- ✓ 生成物を得るための最適操作条件の確認
- ✓ 操作条件を変動させた時の処理性能への影響確認
- ✓ 不具合が発生せずに安定的に連続運転できること、保守性の確認

これらのデータ取得を目的とした試験計画について検討結果を以下に示す。

2.1 生成物を得るための最適操作条件の確認

(1) 試験項目(充足すべきデータ)【添付資料-2.1】

これまでの工学規模試験において、分解槽の模擬廃液、触媒及び還元剤を均一に混合した状態で、硝酸根分解に伴う発熱反応に対して槽内を所定の温度に制御することで、硝酸根を90%以上分解できることを確認している。

これを踏まえ、実機においては単位液量当たりの攪拌動力を工学規模と同一とする設計としているが、実機は、これまでの工学規模試験と異なり、取扱う廃液量や触媒量が多く(約25倍)、また、分解槽の幾何形状も大きく(約3倍)、槽内構造も異なる(工学規模試験装置は、槽内に攪拌機のみを設置であるが、実機は、槽内に複数の配管が設置され、サポートで固定。また、槽内の攪拌性能を向上させるために、実機の槽内には邪魔板を設置)。

このため、実証プラント規模において、「①均一な攪拌状態であること」、「②槽内温度を一定に制御できること」を確認した上で、「③所定の処理性能が得られること」を確認する。

(2) 試験内容【添付資料-2.2】

① 攪拌による均一性

分解槽内の液と触媒が均一に混合できる攪拌条件を確認することを目的として、攪拌を行いながら分解槽の上部・底部で液と触媒の混合物のサンプリングを行い、液の濃度分析と試料に含まれる触媒の体積を確認することにより、均一に混合できる攪拌翼の回転数を確認する。工学規模試験の結果から、実機におい

ては単位液量当たりの攪拌動力(0.10 kW/m³)に相当する攪拌条件(攪拌機回転数:103 rpm以上)で設計しており、この条件を中心に回転数をパラメータとした試験を実施し、最適な攪拌条件を確認する。

② 槽内温度の制御性

硝酸根分解の触媒還元反応は発熱反応であることから、運転中は分解槽を外部から冷却しながら最適な温度条件(約80°C)を維持する設計としている。このため、分解槽内の液温度が所定の温度に制御できることを目的に、加熱及び冷却の操作を行いつつ、分解槽の上部・底部の温度をモニタリングし、槽内の温度が均一となる攪拌条件を確認する。

③ 処理性能

上記①と②にて得られた攪拌による均一性と槽内温度の制御性が確保できる条件のもと、所定の生成物が得られることの確認を目的として、模擬廃液を用いた硝酸根分解を行い、サンプリングにより液中の硝酸根(NO₃⁻, NO₂⁻)濃度を分析し、硝酸根分解率90%以上が得られることを確認する。

実機では、分解槽と合わせて設置する分析ポットにおいて二成分濃度計を用いたインラインモニタリングを行う計画であり、実証プラント規模試験においてもインラインモニタリングを行って、サンプリングによる分析結果を比較し両者が同値になることを確認する。

また、還元剤の供給条件も硝酸根分解設備の性能に影響する因子であることから、試験装置では、還元剤の供給ノズルを交換可能な構造とし、複数の種類(槽内への供給本数、供給位置が異なるノズル)を用意して、試験にて最適な還元剤の供給ノズル構造を選定し、実機の設計に反映する。

2.2 操作条件を変動させた時の処理性能への影響確認

(1) 試験項目(充足すべきデータ)【添付資料-3.1】

これまでの工学規模試験では、ビーカー規模と同一の操作条件(硝酸ナトリウム濃度、還元剤添加量、液温度)でスケールアップした場合でも硝酸根が分解できることを確認している。

一方、実機においては分析誤差等による操作条件の変動が想定されるため、これらをパラメータとした硝酸根分解試験を行い、「操作条件変動時のプロセス成立範囲」を確認する。

(2) 試験内容【添付資料-3.2】

下記の条件でパラメータを変動させた硝酸根分解試験を行い、硝酸根分解率の経時変化からプロセス成立範囲を確認する。

- ✓ 「硝酸ナトリウム濃度」については、分析誤差等を考慮し、硝酸ナトリウム溶液が高濃度の場合

- ✓ 「還元剤添加量」は、最適な添加量 1.25 mol/mol-NaNO₃ を中心として、分析誤差等を考慮し、変動させた場合
- ✓ 「液温度」は、ビーカー規模試験において、影響がみられなかった低温度条件(約 60°C)で分解を行った場合

2.3 不具合が発生せずに安定的に連続運転できること、保守性の確認

(1) 試験項目(充足すべきデータ)【添付資料-4.1】

これまでの工学規模試験において、フィルタを目詰まりさせずに処理済液を抜出せること、劣化した触媒についてもほぼ全量が回収できることを確認している。

一方、実機においては工学規模試験に比べ、取扱う処理済液や触媒添加量が多く(約10倍)、槽内のフィルタの形状やフィルタの透過面積が異なることから、工学規模試験のみでは安定的に連続運転できることの確証が得られていない。このため、実証プラント規模試験において、「①廃液と触媒を分離した後に廃液がフィルタの目詰まり等の不具合が発生せず移送できること、仮に目詰まりが生じた場合でもフィルタ交換等の保守が可能であること」を確認する。また、「②廃触媒の抜出し及び回収ができること」も合わせて確認する。

(2) 試験内容【添付資料-4.2】

① 廃液の移送処理の確認、保守性の確認

分解反応後に、処理済液の移送処理を行い、触媒分離用フィルタの吸い込み状況を分解槽と外部タンクの液位の増減及びポンプの前後圧力の変化から、フィルタが目詰まりを生じにくいポンプの流量を確認する。

万一、フィルタが目詰まりした場合を想定し、逆洗処理にて目詰まりが解消できることを確認する。また、逆洗処理で目詰まりが解消されない場合を想定し、分解槽内部でフィルタの交換(直接保守)を行い、必要に応じて、保守が容易となるような構造上の改善点を摘出する。

更に、廃液中に含まれる不純物の影響も視野に、一般産業界における目詰まりの除去方法について調査を行い、その方法の有効性について確認する。

② 触媒交換時の動作確認

槽内の廃触媒について、ポンプを用いて抜出しする際、分解槽の観察窓から槽内の廃触媒の抜出し状況を目視確認により、廃触媒フィルタにほぼ全量が抜き出せることを確認する。また、回収先の廃触媒フィルタで廃触媒と廃液が分離できることを確認する。

3. 今後のスケジュール

本実証プラント規模試験は今年度実施している試験装置の設計の結果に基づき試験装置の製作/据付を行った上で、令和5年度より実施する予定である。

以上

(1) 検証方法

▶ 下記の新規設備を導入する際に各試験規模で確認すべき事項に照らして、これまで実施した試験内容について検証した。

ビーカー規模試験	着目プロセスにフィージビリティがあることを確認するとともに、所定の生成物を効率的に得る方法を検討するため反応系の組成や温度・圧力などの運転状態を幅広く変化させてその効果を確認する。
工学規模試験	実機に用いる機器と類似の構造・特性を持つ機器で構成した試験装置を用い、化学プロセスの実機への適用性を明らかにする。また、実機に用いる機器の開発・改良、耐久性・保守性の確認、運転・制御条件の確認、異常時の挙動確認を行う。
実証プラント規模試験	実機の数分の一から数十分の一の規模(工学規模以上)でプラントシステム(主要な系統)を構成したミニプラントを建設し、プラントの効率性や経済性、システムの制御性・安定性を検証する。長期間運転・大量処理によって発現する現象の確認とトラブルシュートも実施する。また、スケールアップに伴う変化の予測が正しかったかどうかを確認し、問題点があれば、解決を図る。
実機の試運転	模擬廃液を用いた機器の動作確認を行い、所定の処理能力が得られることを確認する。また、保守性、異常時の挙動等を確認し、万一、問題点があれば、解決を図る(コールド試運転)。または、実廃液を用いて、所定の処理能力が得られること及び放射性核種の挙動を確認する。また、施設内の空間線量率や放射性物質の放出量が、設計の範囲内であることを確認する(ホット試運転)。

(2) 検証結果

- ▶ プロセスの基本的な成立性については十分な見通しがあるものの、確実に安定な運転を実現するという観点では充足すべきデータが残されていることが明らかとなった。
- ▶ 実機を製作する前に予め実証プラント規模試験を実施し、充足すべきデータを取得し、設計へ反映する。

試験項目		ビーカー規模	工学規模	実証プラント規模	実機の試運転	充足すべきデータ(実証プラント規模)	
1	生成物を得るための最適操作条件(温度、濃度、流量、圧力等)	○	○	() (a)	()	① 攪拌による均一性 ② 槽内温度の制御性 ③ 処理性能	添付資料－2.1
2	操作条件(組成、不純物、温度、濃度、流量、圧力等)を変動させた時の処理性能への影響	△	△	() (b)	()		
3	実機の材料選定、機器形状等を設定するために必要なデータ取得	○	○	/	()	① 分析誤差等を考慮した条件変動時のプロセスの成立性	添付資料－3.1
4	不具合(トラブル)が発生せず安定的に連続運転できること	○	○	() (c)	()		
5	保守性	○	○	△	()	① 廃液の移送処理の確認、保守性の確認 ② 触媒交換時の動作確認	添付資料－4.1
6	異常時(運転上及び安全上)の設備の挙動	○	△	/	()		

○: 確認済 △: 一部確認済 (): 今後確認

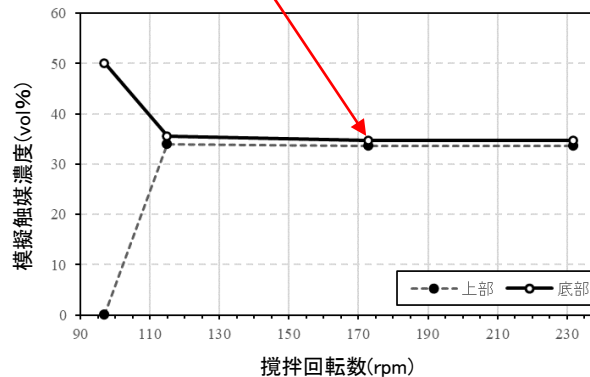
(a)「生成物を得るための最適操作条件」に係る充足すべきデータ(1/2)

1. これまで取得した試験データ

工学規模試験では、分解槽内の模擬廃液と触媒を攪拌しながら還元剤を供給し、分解反応を生じさせた上で、これに伴う発熱と外部からの冷却をバランスさせて液温度を一定(80℃)とすることにより、硝酸根分解反応が制御可能であった。

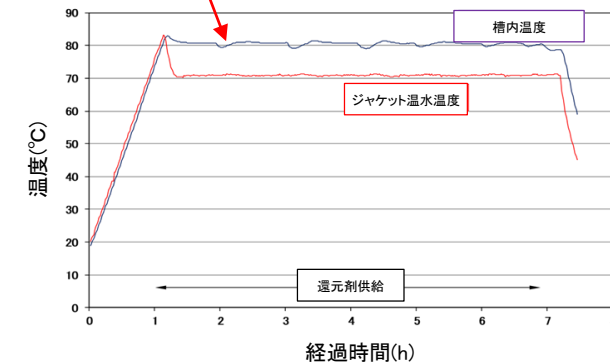


模擬触媒濃度が均一となる攪拌回転数を確認

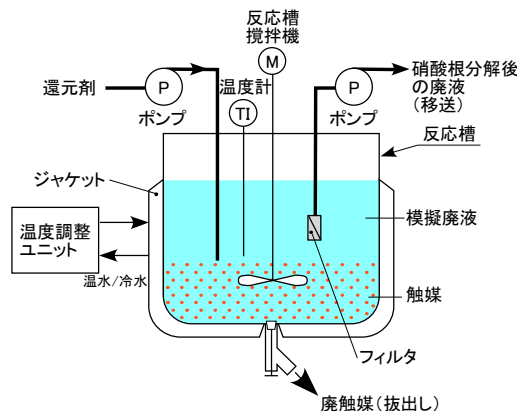


(b) 攪拌機回転数に対する模擬触媒濃度

槽内温度が均一となることを確認

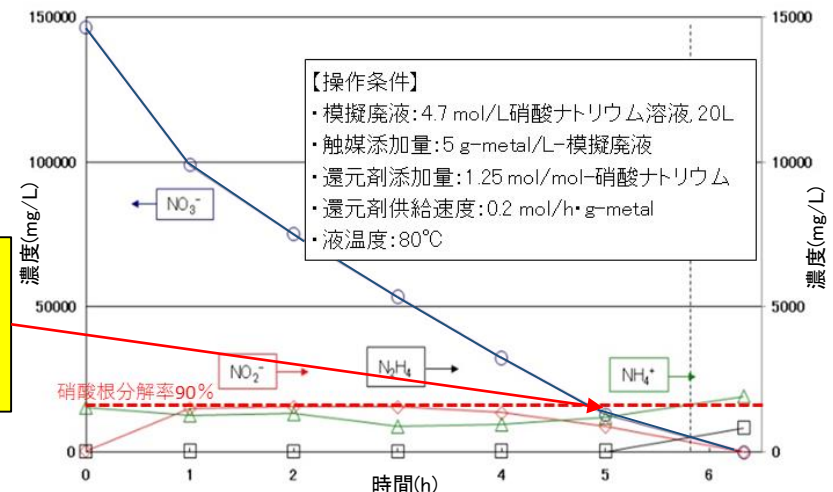


(c) 槽内液温度制御時の経時変化



(a) 工学規模試験装置

硝酸根(NO_3^- 、 NO_2^-)が90%以上分解されること(硝酸根残存率が10%以下)を確認



(d) 廃液中の硝酸根濃度の経時変化

(a)「生成物を得るための最適操作条件」に係る充足すべきデータ(2/2)



2.工学規模と実機で異なる点

・分解槽内で取扱う廃液量(貯槽寸法)が異なる。

・分解槽内部構造が異なる。

⇒工学規模試験装置は、槽内に攪拌機のみを設置であるが、実機は、槽内に複数の配管(廃液の送受用、計器用保護管等)が設置され、サポートで固定。また、槽内の攪拌性能を向上させるために、槽内に邪魔板を設置。

表 工学規模試験と実機設計の比較

工学規模試験	実機設計
<div data-bbox="58 554 389 802" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【攪拌する対象】 ・液量: 50 L (分解槽寸法: $\Phi 400$ mm、 H550 mmの円筒形) ・液密度: 1250 kg/m³ ・粘度: 約1 mPa・s (80°C) ・触媒添加量: 10 kg</p> </div> <div data-bbox="430 625 501 731" style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div data-bbox="534 559 886 725"> <p>槽内を均一に攪拌できる条件 ・攪拌翼: ピッチドパドル(4枚) ・攪拌翼径: 0.17 m ・攪拌機回転数: 173 rpm以上 ・邪魔板: なし</p> </div> <p>一般的に、攪拌装置をスケールアップする場合、槽内の単位液量当たりの攪拌動力を同一にする方法がよく用いられる。</p> <p>工学規模試験の結果から、槽内の均一性を確保するための条件として「単位液量当たりの攪拌動力(0.10 kW/m³)」を得た。</p>	<div data-bbox="1060 554 1392 802" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【攪拌する対象】 ・液量: 1.3 m³ (分解槽寸法: $\Phi 1300$ mm、 H1460 mmの円筒形) ・液密度: 1250 kg/m³ ・粘度: 約1 mPa・s (80°C) ・触媒添加量: 250 kg</p> </div> <div data-bbox="1433 625 1504 731" style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div data-bbox="1529 559 1984 759"> <p>槽内の均一性を確保する設計仕様 ・攪拌翼: ピッチドパドル(4枚) ・攪拌翼径: 0.45 m ・攪拌機回転数: 103 rpm以上 (インバータ使用範囲: 69~345 rpm) ・邪魔板: あり(4箇所)</p> </div> <p>・単位液量当たりの攪拌動力: 0.10 kW/m³</p> <p>↑ 設計に反映</p> <p>実機においても均一性を確保できるようにするため、単位液量当たりの攪拌動力が工学規模と同一となるように設計した。</p> <p>↓</p> <p>ただし、攪拌する槽内の状況(配管/計装、そのサポート等の構造物)の影響により、必要となる攪拌動力は変動し得る。</p>

3. 実証プラント規模試験で充足すべきデータ

実機では、一般的なスケールアップの手法を用いて実機設計を進めている。一方、取扱う廃液量、分解槽内部構造が異なるため、実機においても工学規模試験と同様の**均一な攪拌状態**が得られ、**槽内温度を一定に制御**できること、その上で**所定の処理性能が得られる**ことを実証プラント規模試験(実機1/1)で確認する必要がある。

充足すべきデータ: ①攪拌による均一性、②槽内温度の制御性、③処理性能

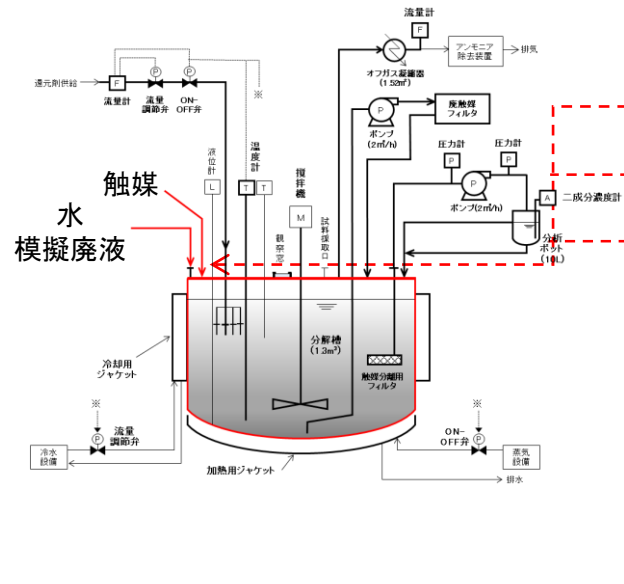
(a)「生成物を得るための最適操作条件」に係る試験計画(1/2)

フロー	試験項目・内容	データを取得するための条件
<p>(1)水の投入</p> <p>(2)触媒の投入</p> <p>(3)模擬廃液の投入※</p> <p>(4)攪拌</p> <p>(5)昇温</p> <p>(6)還元剤の供給※ (分解反応開始)</p>	<p>①攪拌による均一性</p> <p>・<u>分解槽内の液と触媒が均一に混合できる攪拌条件を確認する。</u></p> <p>⇒試料採取口から分解槽内の上部・底部でサンプリングを行い、液の濃度分析と試料に含まれる触媒の体積を確認することにより、均一に混合できる攪拌翼の回転数を決定する。</p> <p>⇒攪拌による均一性をより向上させるため、還元剤の供給ノズル数・形状を変えた場合の影響についても確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・攪拌翼回転数:約5条件 (設計値103rpmを中心に前後2点) ・触媒濃度データ:2点(上部・底部の2カ所) ・試験回数:3回(再現性の確認)
	<p>②槽内温度の制御性</p> <p>・<u>分解槽内の液温度が所定の温度に制御できることを確認する。</u></p> <p>⇒温度計により分解槽の上部・底部の温度をモニタリングし、温度が均一となるような攪拌翼の回転数を決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・攪拌翼回転数:約5条件 (設計値103rpmを中心に前後2点) ・分解槽内の液温度データ:2点 (上部・底部の2カ所) ・試験回数:3回(再現性の確認)
<p>※ケミカル試験時のみ</p>	<p>③処理性能</p> <p>・<u>攪拌による均一性と槽内温度の制御性が確保できる条件において、所定の生成物(硝酸根分解率90%以上の水酸化ナトリウム溶液)が得られることを確認する。</u></p> <p>⇒試料採取口からサンプリングし、液中の硝酸根(NO_3^-, NO_2^-)濃度を分析することにより、硝酸根分解率90%以上の水酸化ナトリウム溶液が得られていることを確認する。</p> <p>⇒分析ポットの二成分濃度計(NO_3^-, NO_2^-)のモニタ値と試料採取口からサンプリングした試料の分析値が同じになることを確認し、運転監視情報の参考として分解槽内の液組成を分析ポットの二成分濃度計を用いてモニタリングできることを実証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分解槽内の模擬廃液濃度の分析データ: NO_3^-, NO_2^- ・データ取得頻度:1時間毎 ・二成分濃度計による分析ポット内の模擬廃液濃度のモニタリングデータ:NO_3^-, NO_2^- ・試験回数:3回(再現性の確認)

(a)「生成物を得るための最適操作条件」に係る試験計画(2/2)

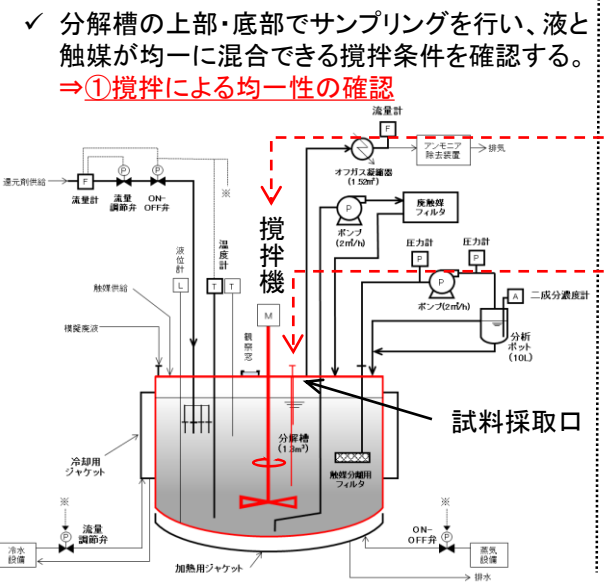
試験手順

(1)水、(2)触媒、(3)模擬廃液の投入



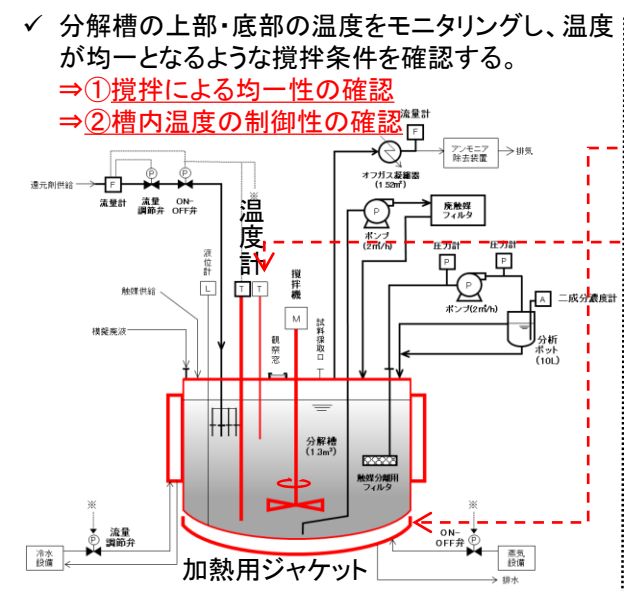
- 【手順】
- 1) 水の投入
 - 2) 触媒の投入
 - 3) 模擬廃液の投入

(4) 攪拌



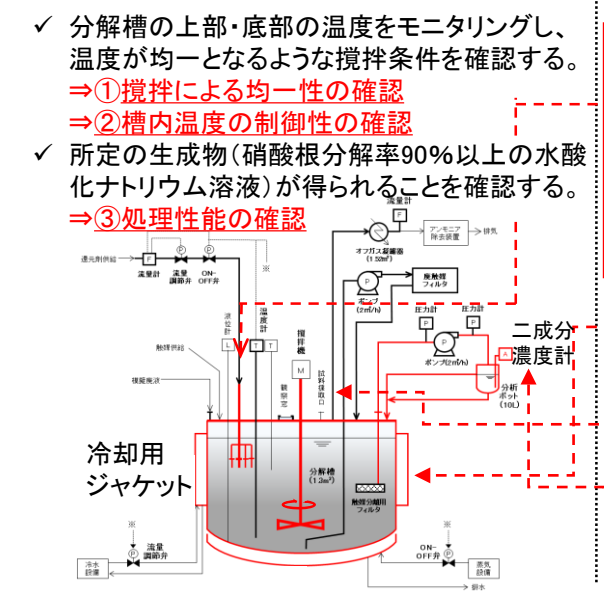
- 【手順】
- 4) 攪拌機起動
(回転数は設計値を中心に5条件)
 - 5) 上部・底部で模擬廃液と触媒の混合物をサンプリング

(5) 昇温



- 【手順】
- 6) 加熱用ジャケットへ蒸気を供給し、80℃まで加熱
 - 7) 上部・底部で温度をモニタリング

(6) 還元剤の供給(分解反応開始)



- 【手順】
- 8) 還元剤の供給開始
複数タイプの還元剤供給ノズル形状から最適な添加方法を確認
①熊手式 ②散気管 ③クロス式
 - 9) 分解反応は発熱反応であることから、冷却用ジャケットへ冷水を供給し、温度を80℃に保つ
 - 9-1) 模擬廃液のサンプリング、分析
: NO_3^- , NO_2^-
 - 9-2) 二成分濃度計による模擬廃液組成のモニタリング
: NO_3^- , NO_2^-

(b)「操作条件を変動させた時の処理性能への影響」に係る充足すべきデータ

(1)これまで取得した試験データ

工学規模試験では、スケールアップの影響を確認するため、ビーカー規模試験と同一の操作条件において試験を行い、処理の規模を100倍スケールアップしても硝酸根の分解処理に影響がないことが確認できた。

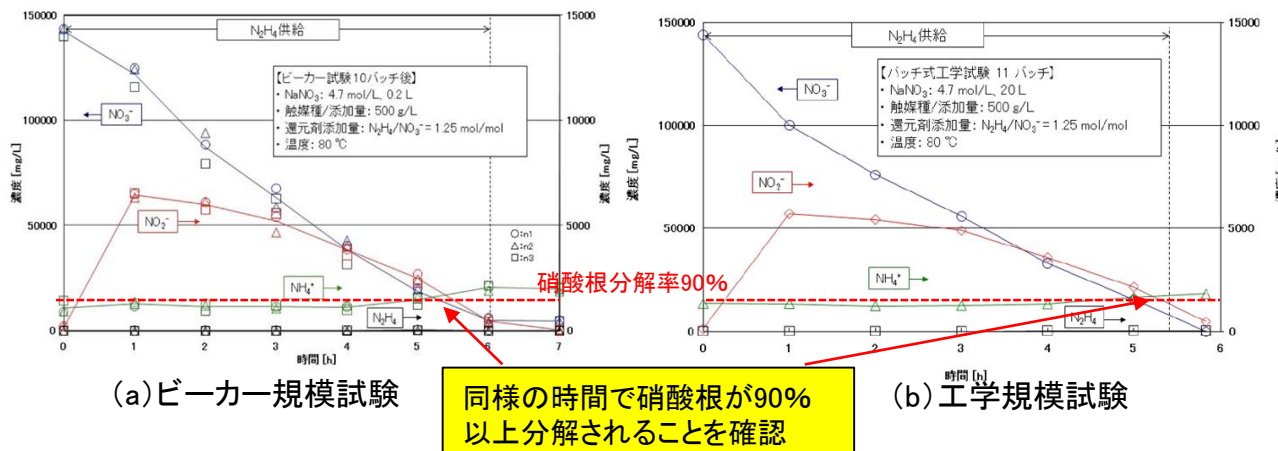


図 処理液中の化学種濃度の経時変化

(2) ビーカー規模・工学規模と実機で異なる点

- ・実機は運転上想定される分析誤差等による操作条件の変動が想定される。

表 ビーカー試験及び工学規模試験と実機設計の比較

ビーカー規模試験・工学規模試験	実機設計
<p>【操作条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬廃液濃度(硝酸ナトリウム溶液): 4.7 mol/L ・還元剤添加量: 1.25 mol/mol-NaNO_3 ・液温度: 80 °C ・触媒添加量: 5 g-metal/L-模擬廃液 	<p>【操作条件】(想定される操作条件の変動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬廃液濃度(硝酸ナトリウム溶液): 4.7 → 5.2 mol/L ・還元剤添加量: 1.25 → 1.13, 1.19 mol/mol-NaNO_3 ・液温度: 80 → 60 °C ・触媒添加量: 5 g-metal/L-模擬廃液

(3) 実証プラント規模試験で充足すべきデータ

実機では、運転上想定される分析誤差等による操作条件(廃液中の硝酸ナトリウム濃度、還元剤添加量、液温度)の変動が想定されるため、実機において**分析誤差等の影響により操作条件が変動した場合でもプロセスが成立すること**を、実証プラント規模試験(実機1/1)で確認する必要がある。



充足すべきデータ: ①分析誤差等を考慮した条件変動時のプロセスの成立性

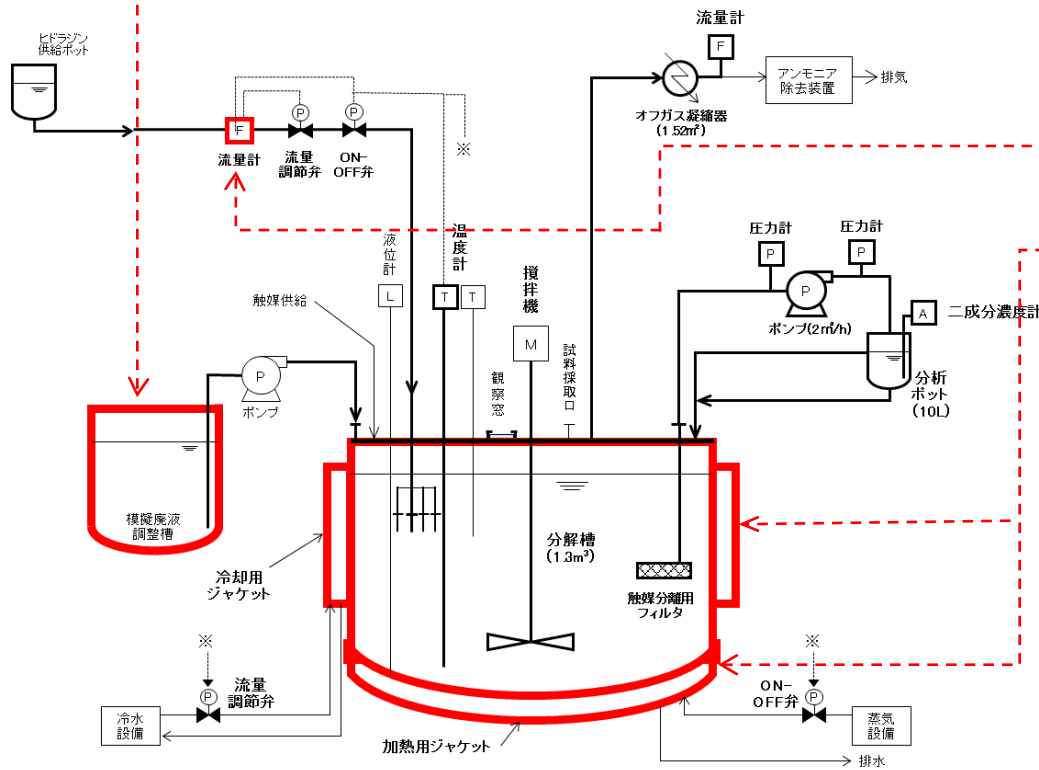
(b)「操作条件を変動させた時の処理性能への影響」に係る試験計画(1/2)

フロー	試験項目・内容
<pre> graph TD A["(1) 水の投入"] --> B["(2) 触媒の投入"] B --> C["(3) 模擬廃液の投入"] C --> D["(4) 攪拌"] D --> E["(5) 昇温"] E --> F["(6) 還元剤の供給 (分解反応開始)"] </pre>	<p>①分析誤差等を考慮した条件変動時のプロセスの成立性</p> <p>・<u>運転上想定される分析誤差等による操作条件(廃液中の硝酸ナトリウム濃度、還元剤添加量、液温度)の変動が想定されるため、条件をパラメータとした硝酸根分解試験を実施し、所定の生成物(硝酸根分解率90%以上の水酸化ナトリウム溶液)が得られる条件変動時のプロセス成立範囲を確認する。</u></p> <p>⇒試料採取口から液をサンプリングし、液中の硝酸根濃度を分析することにより、硝酸根分解率90%以上の水酸化ナトリウム溶液が得られることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 模擬廃液濃度: 4.7 → 5.2 [mol/L] (分析誤差3%想定時に取り得る廃液中の硝酸ナトリウム濃度に裕度を与えたもの) ✓ 還元剤添加量: 1.25 → 1.13、1.19 [mol/mol-NaNO_3] (分析誤差3%を想定したときに取得する硝酸根分解率90%、95%に相当する還元剤添加量) ✓ 液温度: 80 → 60 [°C] (ビーカー試験にて硝酸根分解率に影響がなかった温度範囲) <p>【データを取得するための条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分解槽内の模擬廃液濃度の分析データ: NO_3^-, NO_2^- ・データ取得頻度: 1時間毎 ・二成分濃度系による分析ポット内の模擬廃液濃度のモニタリングデータ: NO_3^-, NO_2^- ・試験回数: 3回(再現性の確認)

(6)還元剤の供給(分解反応開始)

操作条件(硝酸ナトリウム濃度、還元剤添加量、液温度)が変動した場合の影響について、条件をパラメータとして、所定の生成物が得られる条件変動時のプロセス成立性を確認する。

⇒①分析誤差等を考慮した条件変動時のプロセスの成立性



【手順】

1) 操作条件の変更

- ・模擬廃液中の硝酸ナトリウム濃度(4.7 → 5.2 [mol/L])
(模擬廃液中の硝酸ナトリウム濃度は、分解槽に供給する模擬廃液の濃度を変動させる)
- ・還元剤添加量(1.25 → 1.13、1.19 [mol/mol- NaNO_3])
(還元剤添加量は、積算流量計の設定により変動させる)
- ・温度(80 → 60 [°C])
(液温度は、加熱用ジャケットと冷却用ジャケットの設定により、液温度を変動させる)

2-1) 分解槽内の模擬廃液濃度の分析データ: NO_3^- , NO_2^-

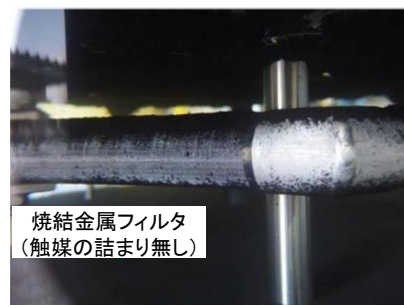
2-2) 二成分濃度系による分析ポット内の模擬廃液濃度のモニタリングデータ: NO_3^- , NO_2^-

(c)「不具合が発生せずに安定的に連続運転できること、保守性」に係る充足すべきデータ

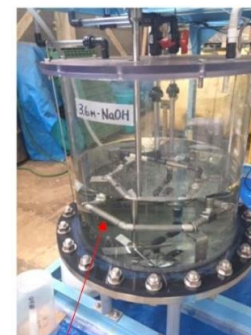
(1) これまで取得した試験データ

これまでの工学規模試験では、硝酸根分解後の廃液と触媒を焼結金属フィルタを用いて分離し、廃液が移送できることを確認した。

また、廃触媒の交換を想定して、ポンプ及び焼結金属フィルタによる廃触媒の抜き出し試験を実施したが、焼結金属フィルタが目詰まりせず、ほぼ全量回収できることを確認した。



廃液と触媒の分離に用いた焼結金属フィルタ
(触媒の詰まり無し)



焼結金属フィルタ
分解槽（廃触媒拔出後）



回収された廃触媒
廃触媒の回収状況

(2) 工学規模と実機で異なる点

- ・取扱う廃液量や触媒量が異なる（約10倍）。
- ・透過面積（約10倍）、焼結金属の形状が異なる。
- ・硝酸根分解後の廃液や廃触媒を回収するポンプの吸い込み側の圧損（配管径、配管長、曲り）やポンプの型式が異なる。

図 工学規模試験結果（廃液移送、廃触媒拔出し）

表 工学規模試験と実機設計の比較

工学規模試験	実機設計
【試験条件】 ・液量: 130 L ・模擬触媒: 活性炭（平均粒径60 μm、Pd-Cu合金は担持させず） ・模擬触媒添加量: 25 kg ・触媒分離用フィルタ: 10 μm焼結金属フィルタ（ろ過面積: 約0.05m ² ）	【処理条件】 ・液量: 1.3 m ³ ・触媒: 活性炭担持Pd-Cu合金（平均粒径60 μm） ・触媒添加量: 250 kg ・触媒分離用フィルタ: 10 μm焼結金属フィルタ（ろ過面積: 約0.5m ² ）

(3) 実証プラント規模試験で充足すべきデータ

実機は、取扱う廃液量や触媒量が大きく、装置形状が異なるため、固体（廃触媒）を取扱う系統においては、フィルタが閉塞等の不具合が発生しないことを実証プラント規模で確認する必要がある。このため、実機にて**廃液と触媒を分離した後に廃液が移送できること、廃触媒の抜き出し及び回収ができること**を、実証プラント規模試験（実機1/1）で確認し、また、廃液と触媒の分離時に**フィルタが目詰まりする等の不具合が発生しないこと**、仮に目詰まりした場合でも**フィルタ交換等の保守が可能**であることも確認する必要がある。



充足すべきデータ: ①廃液の移送処理の確認、保守性の確認、②触媒交換時の動作確認

(c)「不具合が発生せずに安定的に連続運転できること、保守性」に係る試験計画(1/2)

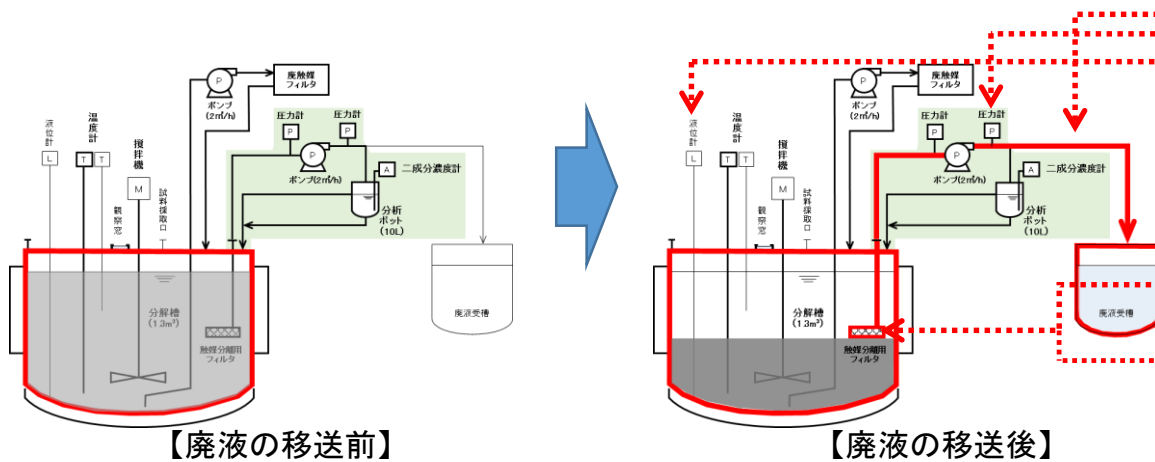
フロー	試験項目・内容
<pre> graph TD A["(1) 水の投入"] --> B["(2) 触媒の投入"] B --> C["(3) 模擬廃液の投入※"] C --> D["(4) 攪拌"] D --> E["(5) 昇温"] E --> F["(6) 還元剤の供給※ (分解反応開始)"] F --> G["(7) 模擬廃液の移送"] G --> H["(8) 触媒の回収"] </pre> <p>※ケミカル試験時のみ</p>	<p>①廃液の移送処理の確認、保守性の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>硝酸根分解処理後に、触媒分離用フィルタを用いて廃液の移送処理を行い、触媒分離用フィルタが目詰まりせずに移送処理が行えることを確認する。</u> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 観察窓から廃液の移送処理中の廃触媒の挙動及び廃触媒分離用フィルタの吸い込み状況を目視確認する。 ⇒ 分解槽と廃液受槽の液位計から液位変化の経時データを取得する。 ⇒ 実機の運転監視情報の参考として、移送処理中のポンプの前後圧力の経時データを取得する。 ・<u>万一フィルタが目詰まりした際の対処法やフィルタの交換方法等の保守について確認する。</u> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ フィルタが目詰まりした場合を想定し、逆洗処理を行い、目詰まりが解消されることを確認する。 ⇒ 逆洗処理で目詰まりが解消されない場合を想定し、分解槽の上部を開口し、内部を直接保守できることを確認する。 ⇒ 廃液中に含まれる不純物の影響も視野に、一般産業界における目詰まりの除去方法について調査を行い、その方法の有効性について確認する。
	<p>②触媒交換時の動作確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>廃液の移送処理後に、槽内の廃触媒の抜き出し処理が行えることを確認する。</u> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 観察窓から槽内の廃触媒の抜き出し状況を目視確認する。 ⇒ 廃触媒フィルタにほぼ全量が抜き出せ、廃触媒フィルタで廃触媒と廃液が分離できることを確認する。

(c)「不具合が発生せず」に安定的に連続運転できること、保守性」に係る試験計画(2/2)

試験手順

(7) 模擬廃液の移送

触媒分離用フィルタを用いて硝酸根分解後の廃液と触媒を分離し、フィルタを目詰まりさせずに廃液のみを移送できることを確認する。⇒①廃液の移送処理の確認、保守性の確認



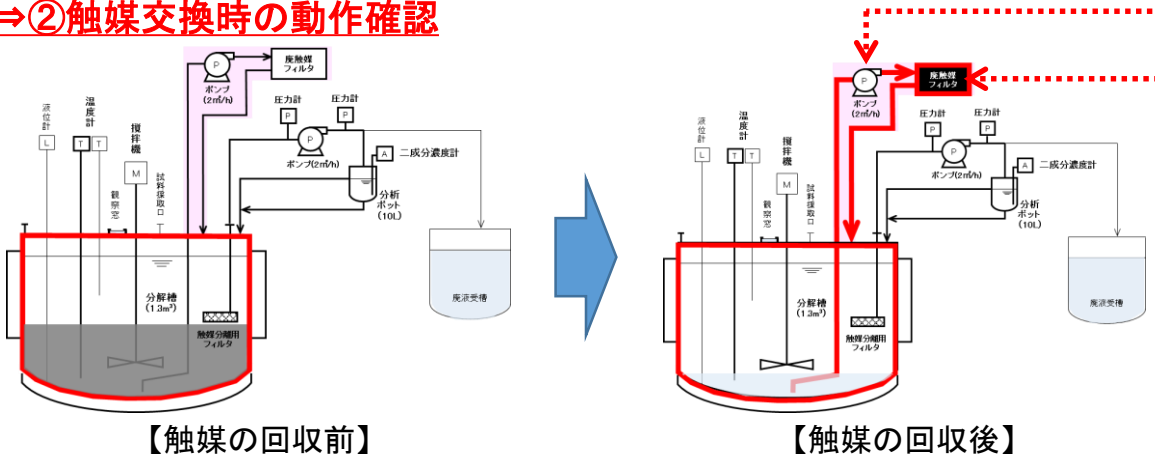
【手順】

- 1) 硝酸根分解処理後に、触媒分離用フィルタを用いて槽内に触媒を留めたまま、廃液だけを移送
- 2) フィルタを目詰まりさせずに廃液のみを移送できることを確認
 - ・液位の確認
 - ・移送時の圧力データの取得
 - ・フィルタへの堆積状況を目視確認
- 3) フィルタが目詰まりした場合を想定し、逆洗・交換による保守が可能であることを確認

(8) 触媒の回収

性能が低下した廃触媒の交換を想定して、ポンプを用いて触媒を槽内から拔出し及び回収できることを確認する。

⇒②触媒交換時の動作確認



【手順】

- 1) 槽内に保持している触媒を拔出して、廃触媒フィルタを用いて触媒を回収
- 2) 廃触媒フィルタで廃触媒と廃液を分離できることを確認
 - ・フィルタへの堆積状況を目視確認

2023年 5月 25日
核燃料サイクル工学研究所
再処理廃止措置技術開発センター

「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
再処理施設保安規定の変更認可申請および補正について」
に関する核物質防護規定及び保障措置への影響について

「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 再処理施設保安規定の変更認可申請および補正について」に関する核物質防護規定（以下、「PP規定」）及び保障措置への影響の有無についての確認結果は下記のとおり。

記

1. 申請の概要

令和5年1月18日付け令04原機（再）074をもって申請した国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所再処理施設保安規定の変更認可申請書の概要を以下に示す。

(1) 放射性廃棄物でない廃棄物の管理に係る条文の追加

第Ⅲ編 第5節 第168条の2として、放射性廃棄物でない廃棄物の管理に係る条文を追加する。

(2) 個人線量計及び積算線量計に係る記載変更

熱ルミネッセンス線量計（TLD）以外の線量計も使用できるように、線量計の種類（検出素子）を特定しない記載に変更する。

(3) 分離精製工場の受入基準（ウラン濃縮度）の変更

第125条の5（工程洗浄における硝酸ウラニルの受払い）において、プルトニウム転換技術開発施設から分離精製工場へ硝酸ウラニルを受け入れる際の基準を定めた「第Ⅲ-7-(1)表 分離精製工場の受入基準」について、ウラン濃縮度を変更する。

(4) その他記載の適正化等

- 1) 品質マネジメントシステム文書名の変更
- 2) 保全区域境界の変更
- 3) 核燃料サイクル工学研究所品質保証委員会規則の明示
- 4) 一部の建物の追加及び撤去に伴う変更

また、令和5年5月19日付け令05原機（再）010をもって補正した国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所再処理施設保安規定の変

更認可申請の概要を以下に示す。

(1) 別紙のうち、「2.変更の理由」を補正する。

2. PP規定、保障措置への影響

(1) PP規定：影響なし

(理由) 今回の国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所再処理施設保安規定の変更認可申請書および補正は、核物質防護措置に関する運用等の変更はないため、PP規定への影響はない。

(2) 保障措置：影響なし

(理由) ・既定の査察実施に支障なし ・監視カメラの視覚障害なし
・監視カメラの移設は不要 ・環境サンプリングに支障なし
・入域制限措置不要 ・設計情報質問票 (DIQ) の変更不要
・保障措置実施手順書の履行に支障なし
・計量管理規定の履行に支障なし

以 上

東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール(案)

令和5年5月25日
再処理廃止措置技術開発センター

面談項目	令和5年																	
	4月				5月				6月				7月					
	~7日	~14日	~21日	~28日	~5日	~12日	~19日	~26日	~2日	~9日	~16日	~23日	~30日	~7日	~14日	~21日	~28日	
廃止措置計画変更認可申請に係る事項																		
系統除染等に係る変更認可申請等																		必要に応じて適宜説明
当面の工程の見直しについて																		必要に応じて適宜説明
LWTFの計画変更 セメント固化設備及び 硝酸根分解設備の設置 等								▽25	▽1	▽8								進捗状況を適宜報告
保全の方針/性能維持施設の見直し						▼11			▽1									必要に応じて適宜説明
その他																		○TVF保管能力増強に係る一部補正 ○設工認・その他報告事項等 ○その他の施設の火災防護
		▼12	▼19	▼27		▼11	▼18	▽25	▽1	▽8								
						▼11		▽25	▽1	▽8								
廃止措置の状況																		
ガラス固化処理の進捗状況等		▼12		▼27			▼18		▽1	▽8								進捗状況を適宜報告
工程洗浄		▼12		▼27		▼11	▼18		▽1									進捗状況を適宜報告

▽:面談 ◇:監視チーム会合